

松江体育協会報

第 4 号
50.1.15

題字は齋藤会長

年頭にあたって



松江体育協会長 齋藤 強

あけましておめでとうございます。

諸賢には、いよいよ御健勝で、希望に満ちた昭和50年の新春をお迎えになったことと存じ、心

からおよろこび申し上げます。

わが松江体育協会は、大正13年5月1日結成という、極めて古い歴史と伝統をもっており、県内はもとより山陰スポーツ界の指導的役割を果たしてきていることは、あまねく知られているところであります。去る昭和46年度、組織・運営方法について積極的に改革を試みましたが、おかげさまでその基盤はいよいよ強固となり、市民総体育の推進に大きく貢献しておりますことはまことによろこばしい限りであります。

昨年、恒例の新年賀会の席上、参会者の総意をもって、次の三案を決議、市当局へ強く要望したことはみなさん御承知のところであります。

1. 島根国体への体制づくりの促進と組織の拡充強化
2. 市民総体育をめざす体育施設設備の整備と体育関係予算の拡充
3. 市立総合体育館建設の促進と建設募金活動への協力

まず、第1点につきましては、体協人を中心に組織された「主会場を松江に誘致する会」を発展的に解消、「松江市体育施設の建設整備促進をはかる会」を結成、第2点の市民総体育をめざす上での体育施設の整備とも考え合

わせ、側面的に島根国体への体制づくり、施設づくりを促してきております。10月17日には、「松江総合運動公園関連事業推進連絡協議会」（会長岡磯吉教育長）が組織され、県・市当局の関係者をもって、行政サイドから、主会場を中心とした施設面・駐車場問題・道路問題等々を話し合い、調整し、整備促進をはかることになったと聞いております。また、本年は、市に「国体準備委員会」が結成されるように聞いておりますので、体制づくりも着々と進んでいると思っております。

一方、わが体協も島根国体をめざし、組織固め、拡充をはかっておりますが、昨年は、なぎなた連盟（会長大野繁子氏）・銃剣道連盟（会長和田邦市氏）ならびにアマチュアボクシング協会（会長岸広海氏）の3団体が誕生、加盟されましたので、加盟団体は35となりました。今後の課題としては、職域部と地域部の組織強化をはかることが必要と思えます。

第2点につきましては、“国民の体育施設整備は極めて貧困。”と先般公表されたとおり、当市もその例にもれません。昨年、湖城ライオンズクラブの好意をもとに、市当局では初めて白濁小学校々庭に夜間照明施設を設置されました。施設の少ない当市にとって夜間使えるということはおおむねありがたく、特に勤労青少年のスポーツの交歓に、体力づくりの場に貴重な存在となりました。

市制80周年を記念、建設決定をみました市立総合体育館は、石油ショックに端を発した諸物価高騰から着工が見合わせられていました。しかし、市当局の強力な陳情により、昨秋、国の補助金、起債が決まり、12月市議会

で鴻池組により着工されることが承認になりました。きたる1月13日午前10時から起工式が挙行されると聞いております。体育館部分が50年度末に、屋内プール部分が51年度に竣工するという事です。長年の希いがやっとかなえられ、たのもしい鐘音が聞けるようになったことは、みなさんとともに喜びたいと思います。

また、松江総合運動公園の方も、ひき続き自衛隊の協力を得て整地作業が続けられ、本年度中に全部が終了、宍道湖、松江城を臨む景勝の地に、およその全貌をみる事ができるようになりました。

総需要抑制政策の中でありながら、高福祉社会実現はまず市民の健康からと、市当局ではわが松江体協に対し、300万円の活動助成費を計上されました。これは、市民の体力づくりに、また、競技力の向上に成果を挙げることのできた根源となりました。

第3点につきましては、すでにふれましたので略しますが、学校の体育施設にたよっている現状ですので、社会体育施設の早急な整

備充実は今後さらに強調要望せねばならないと思います。しかし、われわれとしましてはそれと平行して、現施設の効率的な利用についての研究を進めることも必要と思います。

昨年をふりかえってみますと当初われわれが決議要望しました事項については、ほぼ以上のとおりかなりの進展が見られうれしく思っております。このほか、各加盟団体の活動をみてみますと、ほとんどが女性会員であり、しかも結成早々という本市なぎなた連盟が中心となって、大学・高校の全国大会を誘致、みごとにやりとげられたこと。いよいよ盛大となった市民体育祭。体育館建設のためとはいうものの、とりこわしを余儀なくされた昭和7年来の松江球場とのお別れ行事。中学生諸君の各種大会での活躍。津田小学校の全国水泳優秀校としての受賞。大庭体協の文部大臣表彰受彰等素晴らしい年であったと思います。

今年も、協力一致、市民の健康づくりに、また、島根国体成功をめざし邁進いたしたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

体育スポーツ昭和50年度の課題

松江市教育委員会体育課長 吉 岡 弘
(体協事務局長)

昭和49年度は新たに、なぎなた連盟、銃剣道連盟、アマチュアボクシング協会が誕生し、各々体協に加盟され35の種目別加盟団体となりました。事業内容もいよいよ充実し、市民総体育、総スポーツの実践に着々と進みつつあることは、まことに喜びにたえないところであります。「国づくりは人づくりから」といわれ、強健にして善良なる心身を有する人づくりは、体育、スポーツを自らが親しみをもち、そして実践するところから生れるものであることに心しなければなりません。かねて斎藤市長が提唱されている12万3千市民総体育の実践に課員一同研鑽努力を傾注しているところであります。そこで昭和50年度の体育重点施策を次のとおり考えておりますので、体協役員の方、また広く会員の皆さんの深いご理解と、暖かいご指導ご後援をいただきますようお願い申し上げます。

◎まず学校体育と、社会体育の協調融和のもとに、市民総体育の実現を図り、もって心身ともに明朗健康にして文化的市民の育成を期

する。

(1) 学校体育

1. 全校体育の重視と指導体制の確立による体力づくりの推進
2. 体育指導者の研修と指導力の向上
3. 部活動の育成とスポーツ教室の充実強化
4. 施設、用具の充実

(2) 社会体育

1. スポーツ都市宣言の実施
2. 家庭婦人、老年のスポーツ教室の充実
3. 市民体育祭、市民総体育の拡充推進
4. 松江体育協会の育成強化
5. 第37回(S57年)国民体育大会準備委員会の発足

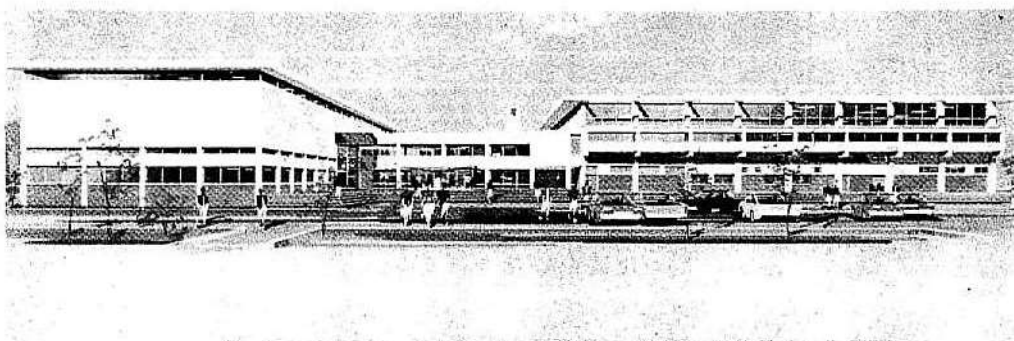
(3) 体育施設の整備促進

1. 市立総合体育館の建設(詳細別掲)
2. 既設運動場の管理、運営と整備
①松江野球場に体育館建設のため使用できず、これにかわる暫定球場を総合運動場公園内に確保
3. 松江総合運動公園の建設促進(詳細別掲)

以上三つを大きい柱として取組みたいと考えますが、特に体育館建設募金に対しましては格別のご協力をお願い申し上げます。更に全国大会、中国大会、県大会の開催、またいよいよ発展を期しております。各種の市民体育大会等数多くの競技大会の企画、運営に対しまして体協の皆さん方の絶大なるご協力ご支

援を重ねてお願い申し上げます。なお終りになりましたが別掲の「松江市民のスポーツに関する実態調査」につきましては、島根大学教育学部助教授織奥信男先生の格別なるご協力を賜りましたことを申し添え、厚くお礼申し上げます。

市民に親しまれる 体育活動の場として…… ——市立総合体育館いよいよ着工——



国際文化観光都市、県都松江市にふさわしい、市民に愛され親しまれる体育活動の場として、市民の誰でもスポーツを楽しみ、健康増進に役立てるため、気軽に利用できる施設としての総合体育館の建設は、当市多年の念願でありまして、殊に天候にも恵まれない当地方にとりましては、このような施設の持つ価値は、まことに大きなものがあると存じます。

体育館は昭和45年の市政施行80周年を期にこれの建設が決定され、その後、年々基金の積立てや、多方面のご指導ご協力を得て準備が整い、昨年末、体育館棟建設工事等を株式会社鴻池組山陰支店外4業者に発注され来春3月完工を目標に現在、鈍音高く工事が進展しつつあることは、まことに喜ばしい限りであります。

一方この画期的事業の経費も約13億円の高額を要し、その資金の一部として、2億円を目標に、近く募金委員会の話し合いを待って実行にうつされるもので、体協としても、あらゆる力を結集して募金に協力しようではありませんか。

体育館の構想は次のとおりであります。

○位置 松江市西川津町北公園地内

○総面積 8772㎡

鉄筋2階建一部地下1階 冷暖房

1. 競技施設

- (1) 大体育室 フロアー36m×51m＝
1,836㎡ 観覧席1,448席
ロールバックスタンド 800席
- (2) 小体育室 フロアー22m×30m＝
660㎡ 室内スポーツ全種目設備
完備
- (3) 屋内温水プール 25m 7コース
(昭和51年度完工)

2. 利用者施設

体力測定室、幼児ルーム、ロッカールーム、医務室、女子体操室、カウンセリング室、トレーニング室、ホール、クラブ室、研修室、サウナ、更衣室、役員室、食堂、シャワー室、その他

3. 管理施設

事務室、応接室、会議室、倉庫、機械室、宿直室、便所、その他

4. 工程

昭和49年12月 着工
昭和52年4月 竣工



建設中の総合グラウンド

昭和57年度島根国体主会場決定の 松江総合運動公園について

松江市都市開発部

【施設の概要】

1. 陸上競技場 (27,690㎡)
 - 1) 第1種公認陸上競技場、400mトラック単心円。フィールドは蹴球競技が可能。
 - 2) 観客収容力23,000人
(メインスタンド 8,000人)
(芝生スタンド 15,000人)
 - 3) 走路及び各助走路共アンツーカー舗装を計画、しかし全天候型も検討。
 - 4) トラックは直線、曲線コース共8コース。しかし直走路9コースも検討中。
2. 補助競技場 (19,960㎡)
 - 1) カーブストーンは全部着脱方式で各種競技(サッカー、ラグビー)が可能。
 - 2) トラックは一周400mのシンダー舗装で第三種公認陸上競技場。
3. 野球場 (20,820㎡)
 - 1) 内野はクレア舗装、他は全面芝生張。

- 2) 両翼92m、バックスクリーンまで120mでプロ公式野球試合可能。
4. テニスコート (9,350㎡)
 - 1) 公式試合用8面。
 - 2) コートはアンツーカー舗装を計画。条件次第でグラス、テックス等も考慮。
5. その他の主な施設
常設駐車場、野外劇場、中央広場、スポーツ広場、園路(マラソンコース等も検討中。)

【経過と展望】

昭和46年度から着手した敷地造成工事は49年度で完了し、昭和50年度から野球場を始め陸上競技場等の競技施設の築造に着手する予定で、昭和55年度までには各種競技施設を完工、昭和56年度には当該公園施設の築造一切を竣工し、昭和57年度島根国体主会場としての雄姿を表わすことになる。

スポーツに関する実態調査

〔一部抜粋〕

総理府が実施した国民の健康、体力に関する世論調査によると、18才以上の人で「健康である」と答えた人は83%あるが、「自分の健康に自信がもてる」という人は、そのなかの54%に過ぎない。また、「ひとなみの体力がある」と答えた人は73%あるが、そのなかで、「自分の体力に自信がある」と答えた人は39%と、半数以上の人が、体力に自信がないと訴えている。

健康や体力は、我々の日常生活を楽しく、明るく、充実して過すための基礎的条件の中でも、重要なもの一つである。松江市教育委員会においても、市民ひとりびとりが健康で明るく楽しい生活を営む上で、スポーツの役割を重視している。従って、松江市において、健全な楽しみを持つ場としてのスポーツ活動の実態を

- ・日常生活における労働と余暇
- ・余暇活動としてのスポーツ
- ・学校、体育施設（小学校）の利用

等に視点をおいて、今後の体育行政を進める資料の一助にと実施した調査の一部を、体協会報を介して報告するものである。ここでは、体育とスポーツの概念規定や、余暇時間の意味等十分吟味せず、学問研究の立場から

はいろいろ問題はあるが、厳密な検討は今後の課題として残し、一般的傾向把握を主なねらいとしたものである。

松江市教育委員会
体育課長 吉岡 弘

I 調査方法と調査対象

- (1)調査方法 質問紙法による。
- (2)期 日 昭和49年7月15日から昭和49年8月5日まで
- (3)調査対象 松江市内の21小学校高学年、(5・6年)児童の保護者。
男子 658名、女子 555名
年令別、職業別等区分して集計。

II 調査結果〔抜粋〕

- (1)一日の労働時間と余暇時間（土曜・日曜は除く）

表1-1、1-2、一日の労働時間
（全体の男女）

表2-1、表2-2 一ヶ月の休日（ \times ）

表3-1、表3-2 余暇の要求（ \times ）

表4-1、-2、-3 雑賀、津田、白潟各地区の職業別、男子の労働時間、休日、余暇の要求

表1-1 男子658名

一日の労働時間

年齢	労働時間	6以下	6 8	8 9	10 12	12 以上	無 記	合 計
21~25	人数				1			1
	%				100			100
26~30	人数	2	1	12	2			17
	%	11.8	5.9	70.5	11.8			100
31~35	人数	3	23	46	43	3		118
	%	2.5	19.5	39.0	36.5	2.5		100
36~40	人数	3	52	129	102	18	7	312
	%	1.0	16.7	41.4	32.8	5.8	2.3	100
41~45	人数	2	32	76	43	9	6	168
	%	1.2	19.1	45.1	25.6	5.4	3.6	100
46~50	人数	0	5	18	9	0	3	35
	%	0	14.3	51.4	25.7	0	8.6	100
51~55	人数	0	2	3	2	0	0	7
	%	0	28.6	42.8	28.6	0	0	100
全 村	人数	8	116	273	219	32	16	658
	%	1.2	17.6	32.4	32.4	4.9	2.4	100

表1-2 女子555名

年齢	労働時間	6以下	6 8	8 9	10 12	12 以上	無 記	合 計
26~30	人数	4	10	10	17	12	5	58
	%	6.9	17.2	17.2	29.4	20.7	8.6	100
31~35	人数	10	31	64	46	36	3	190
	%	5.3	16.3	33.7	24.2	18.9	1.6	100
36~40	人数	21	41	48	54	49	3	216
	%	9.7	19.0	22.2	25.0	22.7	1.4	100
41~45	人数	9	9	13	23	19	4	77
	%	11.7	11.7	16.9	29.9	24.7	5.1	100
46~50	人数	0	3	4	4	3	0	14
	%	0	21.4	28.6	28.6	21.4	0	100
全 体	人数	44	94	139	144	119	15	555
	%	7.9	16.9	25.1	26.0	21.4	2.7	100

表2-1 男子658名

休 日 の 現 状

表2-2 女子555名

年齢	一月の休日回数	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	無 記	合 計
21~25	人数				1				1
	%				100				100
26~30	人数		1	3	3	6	1		17
	%		5.9	17.6	17.6	35.4	5.9		100
31~35	人数	6	11	24	16	33	19	9	118
	%	5.1	9.3	20.3	13.6	28.0	16.1	7.6	100
36~40	人数	18	41	54	35	91	55	18	312
	%	5.8	13.1	17.3	11.2	29.2	17.6	5.8	100
41~45	人数	4	23	25	16	45	40	15	168
	%	2.4	13.7	14.9	9.5	26.8	23.8	8.9	100
46~50	人数		2	6	5	10	7	5	35
	%		5.7	17.1	14.3	28.6	20.0	14.3	100
51~55	人数				2	2	2	1	7
	%				28.6	28.6	28.6	14.2	100
全 体	人数	28	78	112	78	184	129	49	658
	%	4.3	11.4	17.0	11.9	29.9	19.6	7.4	100

年齢	一月の休日回数	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	無 記	合 計
26~30	人数	3	0	7	3	11	14	20	58
	%	5.2	0	12.1	5.2	18.9	24.1	34.5	100
31~35	人数	13	14	22	12	34	30	65	190
	%	6.8	7.4	11.6	6.3	17.9	15.8	34.2	100
36~40	人数	36	27	40	14	34	22	43	216
	%	16.7	12.5	18.5	6.5	15.7	10.2	17.9	100
41~45	人数	11	4	17	11	9	10	15	77
	%	14.3	5.2	22.1	14.3	11.7	13.0	19.4	100
46~50	人数	2	1	4	1	4	1	3	14
	%	14.3	7.1	14.3	7.1	28.7	7.1	21.4	100
全 体	人数	55	46	88	41	92	77	146	555
	%	11.7	8.3	15.8	7.4	16.6	13.9	26.3	100

表3-1 男子 658人

年齢	要求度	もっと欲しい	いまのまま	もう少しでよい	むしろ多すぎる	無記	計
		人数	人数	人数	人数	人数	人数
21~25	人数	1					1
	%	100					100
26~30	人数	11	6				17
	%	62.5	37.5				100
31~35	人数	72	41	4	1	118	
	%	61.0	34.8	3.4	0.8	100	
36~40	人数	204	102	4	2	312	
	%	62.6	35.3	1.4	0.7	100	
41~45	人数	101	62	1	4	168	
	%	58.4	38.5	0.6	2.5	100	
46~50	人数	19	16			35	
	%	46.7	53.3			100	
51~55	人数	2	4	1		7	
	%	28.6	57.1	14.3		100	
全体	人数	410	231	10	7	658	
	%	62.3	35.1	1.5	1.1	100	

表4-1

職業	地域	一日の労働時間					無記	休日の現状(一月間)					余暇の要求						
		6時間以下	6~7時間	8~9時間	10~12時間	13時間以上		なし	1回	2回	3回	4回	5回以上	その他	無記	もっと欲しい	今のままでよい	むしろ多すぎる	無記
公務員 金融 団体職員	雑賀	0	2	7	2	3	2	1	0	1	4	6			13	1			
	津田			6	5	4		3	2	1	4	3	1	1	12	3			
	白濁			7	4			2	1		1	2	1	4	5	5	1		
公務員 建設 運輸 郵便	雑賀	0	5	9	5	1			6	2	7	27.5	2	2	5	30	9	1	2.5
	津田	0	4	6	8	1	0		4	1	8	5		1	10	9			
	白濁	1	4	8	6			3	4	3	3	2	2	2	11	7	1		
その他	雑賀		2	2	5	2		1	1	1	3	3	2		8	3			
	津田		1	2	1			1	1	0	0	2			1	3			
	白濁	1	0	4	4	1		1	2	1	0	4	1	1	7	3			
他		4.0	12.0	32.0	40.0	12.0	1	4	3	1	7	6	3	16	9				

表4-2

職業	地域	一日の労働時間					無記	休日の現状(一月間)					余暇の要求						
		6時間以下	6~7時間	8~9時間	10~12時間	13時間以上		なし	1回	2回	3回	4回	5回以上	その他	無記	もっと欲しい	今のままでよい	むしろ多すぎる	無記
公務員 金融 団体職員	雑賀	0	2	7	2	3	2	1	0	1	4	6			13	1			
	津田			6	5	4		3	2	1	4	3	1	1	12	3			
	白濁			7	4			2	1		1	2	1	4	5	5	1		
公務員 建設 運輸 郵便	雑賀	0	5	9	5	1			6	2	7	27.5	2	2	5	30	9	1	2.5
	津田	0	4	6	8	1	0		4	1	8	5		1	10	9			
	白濁	1	4	8	6			3	4	3	3	2	2	2	11	7	1		
その他	雑賀		2	2	5	2		1	1	1	3	3	2		8	3			
	津田		1	2	1			1	1	0	0	2			1	3			
	白濁	1	0	4	4	1		1	2	1	0	4	1	1	7	3			
他		4.0	12.0	32.0	40.0	12.0	1	4	3	1	7	6	3	16	9				

表3-2 女子 555人

年齢	要求度	もっと欲しい	いまのまま	もう少しでよい	むしろ多すぎる	無記	計
		人数	人数	人数	人数	人数	人数
26~30	人数	26	31	1	0	58	
	%	44.8	53.5	1.7	0	100	
31~35	人数	110	72	5	3	190	
	%	57.9	37.9	2.6	1.6	100	
36~40	人数	136	72	3	5	216	
	%	63.0	33.3	1.4	2.3	100	
41~45	人数	49	26	2	0	77	
	%	63.6	33.8	2.6	0	100	
46~50	人数	9	4	1	0	14	
	%	64.3	28.6	7.1	0	100	
全体	人数	330	205	12	8	555	
	%	59.5	36.9	2.2	1.4	100	

表4-3

職業	地域	一日の労働時間					無記	休日の現状(一月間)					余暇の要求						
		6時間以下	6~7時間	8~9時間	10~12時間	13時間以上		なし	1回	2回	3回	4回	5回以上	その他	無記	もっと欲しい	今のままでよい	むしろ多すぎる	無記
公務員 金融 団体職員	雑賀	0	2	7	2	3	2	1	0	1	4	6			13	1			
	津田			6	5	4		3	2	1	4	3	1	1	12	3			
	白濁			7	4			2	1		1	2	1	4	5	5	1		
公務員 建設 運輸 郵便	雑賀	0	5	9	5	1			6	2	7	27.5	2	2	5	30	9	1	2.5
	津田	0	4	6	8	1	0		4	1	8	5		1	10	9			
	白濁	1	4	8	6			3	4	3	3	2	2	2	11	7	1		
その他	雑賀		2	2	5	2		1	1	1	3	3	2		8	3			
	津田		1	2	1			1	1	0	0	2			1	3			
	白濁	1	0	4	4	1		1	2	1	0	4	1	1	7	3			
他		4.0	12.0	32.0	40.0	12.0	1	4	3	1	7	6	3	16	9				

(2) (1)の表に關しての概要

労働時間については、全体として、男子の公務員、会社員、団体職員が65%のものが、8時間～12時間。職業別の項、表4からも公務員、団体職員が労働時間はやゝ多い。

女子については、農業従事者と家事育児が8時間～12時間、60%と多い。

昭和47年度、国民生活白書(経済企画庁)では、小学校就学児童を持つ父親の労働時間の平均9.9時間～10時間である。母親については、8.5時間～8.7時間と父親よりやゝ少ない。松江市の場合、この平均より男女とも労働時間に関しては、半数以上の人達は多いといえる。

一日の余暇時間については、余暇の規定が不明確であったため、問題は残るが、年齢層

による差別は別にしても、男子(全体で)の72%が3時間以下、女子80.7%、3時間以下と白書の平均、男子3.2時間、女子3.5時間と比較して、それぞれ7割～8割がやゝ下まわっている。職業別ではあまり差がみられない。(男子のみ)〔表省略〕

一ヶ月における休日については4回以上が男子で50%弱、女子で30.5%とやゝ差があらわれている。職業別では、その他(64.6%)>公務員等55%)>建設運輸等53.4%で、全体の男子49.5%よりやゝ高い。

余暇の要求については、現状よりもっと要求しているもの、全体では、男女とも60%近くの人がいる。職業別では、公務員等(75%)>その他(64%)>建設等(53.5%)と、公務員の要求は強い。

(2) 余暇活動としてのスポーツ

表5-1 男子 658名

一年間のスポーツ実施

表5-2 女子 555名

年齢	スポーツ実施		あ る	な い	無 記	計
	人数	%				
21～25	人数	1				1
	%	100				100
26～30	人数	10	7			17
	%	58.8	41.2			100
31～35	人数	78	38	2		118
	%	66.1	32.2	1.7		100
36～40	人数	162	150			312
	%	51.9	48.1			100
41～45	人数	69	93	6		168
	%	41.1	55.3	3.6		100
46～50	人数	15	20			35
	%	42.9	57.1			100
51～55	人数	2	7			7
	%	28.6	71.4			100
全 体	人数	337	313	8		658
	%	51.2	47.6	1.2		100

年齢	スポーツ実施		あ る	な い	無 記	計
	人数	%				
26～30	人数	19	35	4		58
	%	32.8	60.3	6.9		100
31～35	人数	67	123	0		190
	%	35.3	64.7	0		100
36～40	人数	97	114	5		216
	%	44.9	52.8	2.3		100
41～45	人数	12	64	1		77
	%	15.6	83.1	1.3		100
46～50	人数	4	10	0		14
	%	28.6	71.4	0		100
全 体	人数	199	346	10		555
	%	35.9	62.3	1.8		100

表 6

性別	項目	実施回数					一回の時間(平均)						運動仲間			
		ほとんど毎日	週に2/3回	週に1回	月に1/2回	その他	20分ぐらい	40分ぐらい	1時間ぐらい	2時間ぐらい	3時間ぐらい	その他	大体決まっている	とくに決っていない	たいていひとり	無記
男 337人 %		15	57	68	141	56	34	74	48	95	50	36	152	161	14	10
		4.5	16.9	20.2	41.8	16.6	10.1	22.0	14.2	28.2	14.8	10.7	45.1	47.8	4.2	2.9
女 199人 %		2	15	27	69	86	26	36	28	62	19	28	78	97	11	13
		1.0	7.5	13.6	34.7	43.2	13.1	18.1	14.1	31.1	9.5	14.1	39.2	48.7	5.5	6.5

表 7

職業	項目	一年間のスポーツ実施			スポーツ実施回数						一回に行なう時間						運動仲間					
		あ る	な い	無 記	ほとんど毎日	週に2/3回	週に1回	月に1/2回	2ヶ月に1回	その他	無記	20分以内	21/40分	41/60分	1/2時間	2/3時間	3時間以上	無記	だいた決まっている	とくに決っていない	たいていひとり	無記
公務員・団体職員	雑 賀 津 田 白 濁	9	5		1		3	2		3		2	3		3	1			6	2		1
		5	9	1				4		1		2	1		1	1			4	1		
		6	5		1	2	3					2	1	1	1	1			3	3		
		20	19	1	1	5	9	4		4		6	5	5	3	1			13	6		1
	50.0	47.5	2.5	5.0	5.0	25.0	45.0	20.0		20.0	30.0	5.0	25.0	15.0	5.0			65.0	30.0		5.0	
建設・製造・卸	雑 賀 津 田 白 濁	14	6		1	2	5	1	3			2	1	7	2	2			6	8		
		9	10		1	3	1	4				1	2	2	2	1	1		4	1	2	2
		8	11		2	2	3		1			1	2	1	3	1			4	3	0	1
		31	27	2	7	5	12	1	4		2	6	4	12	3	4			14	12	2	3
	53.5	46.5	6.5	22.6	16.1	38.7	3.2	12.9		6.5	19.3	12.9	38.7	9.7	12.9			45.1	38.7	6.5	9.7	
その他(サービス業含)	雑 賀 津 田 白 濁	6	5		1	1	3		1			1	1		2	2			4	2		
		3	1		1	1	2							1	2	1			1	2		
		6	4		2		2	1	1			1		1	3	1			3	2		1
		15	10		4	1	7	1	2		2	1	6.7	4	3	5			8	6		1
	60.0	40.0		26.7	6.7	46.6	6.7	13.3		13.3	6.7	26.7	20.0	33.3				53.3	40.0		1.7	

表8 主な実施種目

性別	種目	キ	パ	卓	野	ソ	ゴ	ホ	バ	庭	レ	陸	水	な	釣	そ	
		ル	レ	球	球	フト	ル	ー	ド	球	ー	上	泳	わ		他	
		キャン	ー		(ト		リ	ド		レ	(と			
		チ	ホ		軟	ト		ン	ミ		ー	走		び			
		球	ール		式	ール		ン	ン		ホ	路					
		球)	ール	球	球	ール	フ	グ	ト	球	ール	上	泳				
男子	回答頻数	103	94	83	57	68	45	35	27	19	13	18	6		6	46	≥ 620
337人	頻数																
	回答総数	16.6	15.1	13.4	9.2	11.0	7.2	5.6	4.4	3.1	2.1	2.9	1.0		1.0	7.4	
	%	30.6	27.9	24.6	16.9	20.2	13.4	10.4	8.0	5.7	3.9	5.3	1.8		1.8	13.7	
女子	回答頻数	15	108	50		10	2	37	35	5	19	7	3	5		11	≥ 307
199人	頻数																
	回答総数	4.9	35.2	16.3		3.3	0.7	12.0	11.4	1.6	6.2	2.3	0.9	1.6		3.6	
	%	7.5	54.3	25.1		5.0	1.0	18.6	17.6	2.5	9.6	3.5	1.5	2.5		5.5	

表9 主な実施種目

項目	野	バ	テ	ソ	卓	水	ゴ	剣	マ	射	サ	バ	ホ	ピ	ス	登	釣	バ	符	飛	洋	
																						レー
		ボール	ス	ト	球	泳	フ	道	ソ	撃	カ	ミ	リ	ヤ	ー	山		ス	集	機		
		ール	ス	ト	球	泳	フ	道	ソ	撃	カ	ミ	リ	ヤ	ー	山		ス	集	機		
公	雑	3	2	1	2	2	1	1	1													
金	津	4	2		1	1			1		1											
融	田	2	2	1		2						2	1									
員	白	9	6	2	3	5	1	2	1	1	1	2	1									
保		45.0	30.0	10.0	15.0	25.0	5.0	10.0	10.0	5.0	5.0	10.0	5.0									
険	雑	7	2		1	2	3					1	3	1	1	1	2					
員	津	7	2	1		1		5			1	0	1		1							
業	田	4			1	2			1		1	2	0				1				1	
	白	18	4	1	1	4	2	8	1	1	1	2	6	1	2	1	3				1	
		58.1	12.9	3.2	3.2	12.9	6.5	25.8	3.2	3.2	3.2	6.5	19.4	3.2	6.5	3.2	9.7				3.2	
建	雑	4	2	1		1	2											1	1			
設	津	1				1	2						2									
業	田	1				2	2						3									
	白	8	2	1		3	1	6					5					1	1		1	
		53.3	13.3	6.7		20.0	6.7	40.0					33.3					6.7	6.7		1	6.7

表10 スポーツを行っている場所

性別	場所	学	空	勤	勤	自	道	ホ	公	武	卓	市	ゴ	山	川	そ	計
		校	地	め	め	宅	路	ー	民	道	球	宮	ル		(他	
		校	や	先	先			リ	館	館	場	グ	フ		河		
		校	広	の	の			ン			(ラ	場		原		
男子	頻数	129	127	60	3	51	19	15	10	12	8	16	18	16	1	7	492
337人	頻数																
	%	26.2	25.8	12.2	0.6	10.3	3.9	3.1	2.0	2.4	1.6	3.3	3.7	3.3	0.2	1.4	
	%	38.3	37.7	17.8	0.9	15.1	5.6	4.5	3.0	3.6	2.4	4.8	5.3	4.8	0.3	2.0	
女子	頻数	65	41	16	8	27	8	8	9	1	4	1	0	1	0	2	191
199人	頻数																
	%	34.0	21.5	8.4	4.2	14.1	4.2	4.2	4.7	0.5	2.1	0.5		0.5		1.1	
	%	32.7	20.6	8.0	4.0	13.6	4.0	4.0	4.5	0.5	2.0	0.5		0.5		1.0	
男女計	頻数	194	168	76	11	78	27	23	19	13	12	17	18	17	1	9	683
536人	頻数																
	%	28.4	24.5	11.1	1.6	11.4	4.0	3.4	2.8	1.9	1.8	2.5	2.6	2.5	0.2	1.3	
	%	36.2	31.3	14.2	2.1	14.6	5.0	4.3	3.5	2.4	2.2	3.2	3.4	3.2	0.2	1.7	

表11 スポーツを行なっている場所

職業	項目	学 校	空地 や広 場	自 宅	勤 務 先 の テ ラ ス コ ー ト	勤 務 先 の 体 育 館	道 路	山	川 (河原)	公 民 館	武 道 館	市 営 テ ラ ス コ ー ト	ホ ー リ ン グ 場	ゴ ル フ 場	卓 球 場	そ の 他	無 記
公務員 金融 保険 業 団体職員	雑賀	3	1	3	2	1	1									1	
	津田	3		2		1		1									
	白濁	2	2		1								1				2
	平均	8 40.0	3 15.0	5 25.0	3 15.0	2 10.0	1 5.0	1 5.0					1 5.0				3 15.0
建設 製造 卸	雑賀	4	4					2		1						5	1
	津田	5	1	1	1		2									3	
	白濁	2	4			1				1						2	
	平均	11 35.5	9 29.0	1 3.2	1 3.2	1 3.2	2 6.5	2 6.5		2 6.5						10 32.3	1 3.2
その他 (サー ビス 業)	雑賀	1	2	1	3	1		1								1	
	津田		1					1					1			1	
	白濁	2	3		1	1	1									1	
	平均	3 20.0	6 40.0	1 6.7	4 26.7	2 13.3	1 6.7	2 13.3					1 6.7			3 20.0	

表12 スポーツを行なっていない理由

性別	項目	行 な う の も 見 る の も い や	見 る の は 好 き な い	見 る の は 好 き な い	仲 間 が い な い	時 間 が な い こ と が あ る	時 間 が な い こ と が あ る	場 所 が な い	道 具 が な い	お 金 が か か る	運 動 が へ た	病 弱	指 導 者 が い な い	そ の 他	無 記
男 子 313人	回答頻数 ≥452	3	80	45	193	35	19	8	29	20	8	12			
	%	0.7	17.7	10.0	42.7	7.6	4.2	1.8	6.4	4.4	1.8	2.7			
女 子 346人	回答頻数 ≥635	4	125	67	217	30	37	9	83	23	23	17			
	%	0.6	19.7	10.6	34.2	4.7	5.8	1.4	13.1	3.6	3.6	2.7			
		1.2	36.1	19.4	62.7	8.7	10.7	2.6	24.0	6.7	6.7	4.9			

表13 スポーツを行なっていない理由

職業	項目	見 る の も 見 る の も い や	見 る の は 好 き な い	見 る の は 好 き な い	仲 間 が い な い	時 間 が な い こ と が あ る	時 間 が な い こ と が あ る	場 所 が な い	道 具 が な い	お 金 が か か る	運 動 が へ た	病 弱	指 導 者 が い な い	そ の 他	無 記
公務員 金融 保険 業 団体職員	雑賀		1		3							1			
	津田	2	1	5	1			1	1	2	1				
	白濁		3		1				1						
	平均	2 10.5	5 26.3	5 26.3	4 21.1			1 5.3	1 10.5	2 10.5	2 10.5				
建設 製造 卸	雑賀		1	2	4	1					1			1	
	津田		2	1	7	1					1		1	1	
	白濁		2	5	7	3		1			1			2	
	平均		5 18.5	8 29.6	18 66.7	5 18.5		1 3.7			3 11.1		1 3.7	4 14.8	
その他 (サー ビス 業)	雑賀			2	5	1									
	津田		1												
	白濁		1		3	1								1	
	平均		2 20.0		8 80.0	2 20.0								1 10.0	

(3) (2)の表についての概要
 スポーツ実施については、全体では男子51%、女子35.9%と男女差がめだつ。年齢別にみても、40才以下の実施者が多い。職業別

ではその他(60%)>建設等(53.5%)>公務員等(50%)と、その他建設等は、男子全体と比較するとやや高い率を示している。各領域間には著るしい差は見られない。

実施回数については、全体で男子においては、月に1～2回41.8%、女子で34.7%。ほとんど毎日か週に2～3回になると男子21%、女子8.5%と相当の開きがある。職業別では、週に2～3回実施するもの、その他(26.7%)建設・運輸等(22.6%)公務員等(5%)公務員の該当者が少なく割合を比較することはできないが、男子全体と、その他、建設・運輸等の傾向は類似している。

実施時間(一回の)については、全体で、男女とも4割強の人は1時間～2時間、職業別では、公務員等の45%の人が1時間以上実施しているが、建設・運輸等61%、その他80%とやや差がみられる。このことは公務員の勤務の仕方と他の領域との勤務の仕方の違いが少しは影響しているのではないだろうか。

運動仲間については、全体では、男女とも同じような傾向があらわれている。即ち、クラブに加入したり、特定の仲間と実施している人が男子45.1%、女子39.2%である。職業別でも決った相手と実施しているものについては、公務員等(65%)その他(53.3%)建設・運輸等(45.1%)で、余暇、休日に関

して同じタイプの職業が、運動仲間設定に有利さがうかがえる。

実施種目では、男子において野球型(ソフトボール、キャッチボールも含む)、バレーボール、卓球、ゴルフ、ボーリング、女子についてはバレーボール、ボーリング、卓球、バドミントンが主なものである。

実施場所については、男女とも学校が多く次いで空地や広場、勤め先の施設、自宅と続いている。いづれにしても公共施設の利用がめだっている。

スポーツを行っていない人は全体で、男子47.6%、女子62.3%で、その理由については、時間の不足を訴えているもの、全体男子42.7%、女子34.2%。

職業別では、その他(80%)建設・運輸等(66.7%)公務員等(21.1%)となっている。

場所の不足(施設用具の不足も含む)を訴えるものは、公務員では少ないが、全体の男女、その他、建設・運輸等の職業の人は共通して指適している。

(4) 学校体育施設(主に小学校)利用について。

表14-1

男子 658名

学校施設に対する意識

○学校施設の一般利用について

表14-2

女子 555名

年齢	学校施設の利用		できる	できない	わからない	無記	計
	人数	%					
21～25	人数				1		1
	%				100		100
26～30	人数	3	4	10			17
	%	20.0	26.7	53.3			100
31～35	人数	54	21	39	4		118
	%	47.4	16.7	32.4	3.5		100
36～40	人数	125	59	111	17		312
	%	45.0	16.2	32.7	6.1		100
41～45	人数	60	31	62	15		168
	%	37.0	17.3	36.4	9.3		100
46～50	人数	9	7	17	2		35
	%	31.9	21.3	40.4	6.4		100
51～55	人数	1	1	4	1		7
	%	14.3	14.3	57.3	14.3		100
全体	人数	252	123	244	39		658
	%	41.3	17.2	35.1	6.4		100

年齢	学校施設の利用		できる	できない	わからない	無記	計
	人数	%					
26～30	人数	15	11	27	5		58
	%	25.8	19.0	46.6	8.6		100
31～35	人数	77	23	82	8		190
	%	40.5	12.1	43.2	4.2		100
36～40	人数	77	39	86	14		216
	%	35.26	18.1	39.8	6.5		100
41～45	人数	22	16	26	13		77
	%	32.4	10.3	38.2	19.1		100
46～50	人数	3	4	5	1		14
	%	21.4	28.6	42.9	7.1		100
全体	人数	194	93	227	41		555
	%	34.9	16.8	40.9	7.4		100

表15-1

男子 658名

学校施設に対する意識

○学校施設は教育のためにあるのだから

表15-2

女子 555名

年齢	意識	児童生徒以外はダメ	地区施設不足のためなら		無記	計
			自由に	規則を決めて		
21～25	人数				1	1
	%				100	100
26～30	人数	1	2	11	3	17
	%	5.9	11.8	64.7	17.6	100
31～35	人数	5	13	87	13	118
	%	4.3	11.0	73.7	11.0	100
36～40	人数	19	25	233	35	312
	%	6.1	8.0	74.7	11.2	100
41～45	人数	11	14	116	27	168
	%	6.6	8.3	69.0	11.1	100
46～50	人数	2	3	25	5	35
	%	5.4	8.6	71.4	14.3	100
51～55	人数	2	1	2	2	7
	%	28.6	14.2	28.6	28.6	100
計	人数	40	58	474	86	658
	%	6.1	8.8	72.0	13.1	100

年齢	意識	児童生徒以外はダメ	地区施設不足のためなら		無記	計
			自由に	規則を決めて		
21～25	人数					
	%					
26～30	人数	5	4	42	7	58
	%	8.6	6.9	72.4	12.1	100
31～35	人数	22	18	140	10	190
	%	11.6	9.5	73.7	5.2	100
36～40	人数	19	17	149	31	216
	%	8.8	7.9	69.0	14.3	100
41～45	人数	13	6	43	15	77
	%	16.9	7.8	55.8	19.5	100
46～50	人数	4	0	7	3	14
	%	28.6	0	50.0	21.4	100
51～55	人数					
	%					
計	人数	63	45	381	66	555
	%	11.4	8.1	68.6	11.9	100

表16 申し込み方 利用の仕方について

性別	利用に関して 申し込み方	個人個人自由に	その責任者が クラブを作り	組織代表 地区体育会等	学校施設利用の りそれを通して ための組織を作	その他	無 記	計
男子		65	128	239	132	18	76	658
%		9.9	19.5	36.3	20.1	2.7	11.5	100
女子		32	107	211	105	4	96	555
%		5.8	19.3	38.0	18.9	0.7	17.3	100
男		97	235	450	237	22	172	1,213
女		8.0	19.4	37.1	19.5	1.8	14.2	100

表17-1

表17-2

表17-3

職業	項目	学校施設の一般利用				学校施設に対する意識				利用のしかた					
		できる	できない	わからない	無記	児童以外は 使用不可	地域施設 不足であれば		無記	個人個人 自由に	者 その責任 クラブを 作り	地区 団体 体育会 代表	学用組 校の織 施設た 設めり の	そ の 他	無記
							自由に	規則を 決めて							
公務員 職 業 （ 体 胎 保 険 業 ・ 団 金）	雑賀	6	1	7			1	11	2		4	5	3		2
	津田	6	2	6	1	1	1	9	4	1	4	5	2		3
	白潟	4		4	3	1		6	4	1	3	1		2	4
		16	3	17	4	2	2	26	10	2	11	11	5	2	9
		40.0	7.5	42.5	10.0	5.0	5.0	65.0	25.0	5.0	27.5	27.5	12.5	5.0	22.5
建設・ 運 輸 ・ 製 造 ・ 通 信	雑賀	7	6	6	1		1	13	6	1	3	8	5	1	2
	津田	7	5	4	3		2	12	5	3	3	6	3	0	4
	白潟	5	3	9	2		4	12	3	4	5	2	1		7
		19	14	19	6		7	37	14	8	11	16	9	1	13
		32.8	24.1	32.8	10.3		12.1	63.8	24.1	13.8	19.0	27.6	15.5	1.7	22.4
その他 （ サ ー ビ ス 業 を 含 む）	雑賀	2	3	5	1	1	1	8	1	1	2	4	1	1	2
	津田		1	2	1	1	1	2		1		1			2
	白潟	4	3	3		1	1	5	3	1	5	1	1		2
		6	7	10	2	3	3	15	4	3	7	6	2	1	6
		24.0	28.0	40.0	8.0	12.0	12.0	60.0	16.0	12.0	28.0	24.0	8.0	4.0	24.0

(5) (4)の表の概要

表14-1・2、表15-1・2からもわかるように、学校の体育施設は、教育活動との関係において、利用できない、わからないと答えたもの半数以上いる。職業別でも公務員等、その他、建設・運輸全体をみても30%~40%の人が、わからないと答えている。

全体としても、職業別からみても、地域の体育施設の不足を補う方法として、学校の体育施設の開放を望んでいる。しかし、その場合、何等かの規則を決めて開放すべきだとしている。また、個々人が自由に利用することよりも、利用者が何等かの組織を作り、責

任者を明らかにして利用すべきだとしている。

この利用者の組織編成も、地区体育会編成を急務とするものと、運動者間でのグループ編成（クラブのようなもの）を急務とするものとに分けられる。

以上、資料の一部を抜粋し一般のひとびとの生活と、スポーツに関する概況を提示し、今後の体育行政の一助にもと考えている次第である。ひとりでも多くの御支援と御指導をお願いするものである。

松江市教育委員会体育課

昭和49年度松江市小中学生の泳力実態

(松江市教育委員会体育課)

校種	学年	性別	泳力					合計
			10M未満	10~25M	25~50M	50~100M	100M以上	
小学校	1年	男	627人	51人	0人	0人	0人	678
		女	617人	37人	0人	0人	0人	654
		%	93.4%	6.6%	0%	0%	0%	(1,332)
	2年	男	632	66	7	0	0	705
		女	592	32	1	0	0	625
		%	92.0	7.4	0.6	0	0	(1,330)
	3年	男	585	178	54	9	3	829
		女	493	140	24	4	2	663
		%	72.3	21.3	5.2	0.9	0.3	(1,492)
	4年	男	298	250	127	62	43	780
		女	385	211	93	41	2	732
		%	45.2	30.5	14.6	6.8	2.9	(1,512)
5年	男	158	209	147	84	77	675	
	女	210	232	148	69	33	692	
	%	26.9	32.3	21.6	11.2	8.0	(1,367)	
6年	男	84	175	191	101	137	688	
	女	126	192	181	100	84	683	
	%	15.3	26.8	27.1	14.7	16.1	(1,371)	
中学校	1年	男	78	95	191	172	225	762
		女	127	241	195	119	93	748
		%	13.6	20.5	25.6	19.3	21.0	(1,510)
	2年	男	51	101	146	185	273	756
		女	70	154	167	130	112	633
		%	8.7	18.4	22.5	22.7	27.7	(1,389)
3年	男	30	66	160	142	392	790	
	女	90	153	240	113	119	715	
	%	8.0	14.6	26.6	16.8	34.0	(1,505)	

昭和49年度小・中学生の泳力比較 ※印 増加

校種	泳力	10M未満	10~25M	25~50M	50~100M	100M以上
小学校	人数	4,807人	1,773人	973人	470人	381人
	%	※ 57.2%	※ 21.1%	11.6%	5.6%	4.5%
中学校	人数	446人	784人	1,099人	861人	1,241人
	%	10.1%	※ 17.8%	※ 25.0%	19.6%	27.5%

年度別泳力比較表 (%) ・印 増加

校種	学年	性別	年度	男子			女子		
				46年度	47年度	49年度	46年度	47年度	49年度
				泳力					
小学校	1年	泳げる者	95.4	98.2	92.5	97.9	98.6	94.3	
		泳げない者							
	2年	泳げる者	87.8	85.6	※ 89.7	93.0	91.7	※ 94.7	
		泳げない者		0.1			0.1		
	3年	泳げる者	61.4	54.8	※ 70.6	71.0	68.6	※ 74.4	
		泳げない者	3.3	4.6	1.5	1.7	1.8	0.9	
4年	泳げる者	31.2	38.8	38.2	46.9	39.7	※ 49.2		
	泳げない者	14.5	16.9	13.5	8.0	11.0	5.9		
5年	泳げる者	21.8	17.8	※ 23.4	30.1	24.2	※ 30.4		
	泳げない者	30.1	30.3	23.9	19.6	21.5	14.7		
6年	泳げる者	11.9	10.4	※ 12.2	15.6	18.0	※ 18.5		
	泳げない者	48.7	56.6	34.6	32.1	31.4	26.9		
中学校	1年	泳げる者	7.7	9.8	※ 10.2	14.9	17.6	17.0	
		泳げない者	59.7	54.1	52.1	30.1	39.1	28.3	
	2年	泳げる者	7.9	6.8	6.8	18.1	12.8	11.1	
		泳げない者	56.0	64.1	60.6	22.8	42.4	38.2	
	3年	泳げる者	5.0	5.5	3.8	15.8	22.7	12.6	
		泳げない者	67.1	79.0	67.6	24.1	38.6	32.5	

泳げない者=10M未満の者

泳げる者=50M以上泳げる者



昭和48年度功績に対し岸記念賞授与

- ① 松江陸協長距離チーム（20名）
48年度島郡市対抗ロードレース・宍道湖一周駅伝・その他4駅伝完全優勝。
- ② 松江刑務所剣道チーム
48年度全国矯正職員剣道大会に中国管区代表となり、7月7日東京で8管区代表により本大会が開催されたが圧倒的な強さを発揮して優勝。
- ③ 松江四中男子バスケットボールチーム
48年度中国5県中学校バスケットボール大会に優勝、全国中学校大会第3位。
- ④ 今林三喜
松江工業高校から49年春中京大学へ進学48年度県卓球選手権、全山陰卓球選手権のダブルスに優勝、ランキング県1位、5県3位。
- ⑤ 古藤正三
市相撲連盟が32年に結成されて以来選手として役員として活躍、国体にも度々出場して斯道の興隆に尽くす。
- ⑥ 原田クラブ（代表者・土屋 勉）
48年度中国5県軟式野球大会（第1部）に優勝。
- ⑦ 島根大学サッカーチーム
48年度全国教育系国立大学サッカー大会をはじめ中国五大会に優勝。サッカースクールの育成指導にも積極的。

- ⑧ 秋田勝英
48年度の競技成績でスキー部門24点は協会の最高記録であり、平素の研究熱心、練習態度は他の模範とするに足るものがある。
以上に対し49年4月15日、本会理事会の議を経て、岸記念賞の授与がきまり、松江体育協会から表彰状とトロフィーが夫々の連盟を通じて贈られた。
また次の2団体に対し特別表彰を行うことになり、トロフィーが贈られた。
- ① 松江市バスケット・ボール協会
（会長・須田豊三郎）
第11回男子、第3回女子全日本教員バスケット・ボール選手権大会を48年8月8日～12日松江市に開催にあたり地元協会として大会の受入れ大会運営に全力を傾注、無事盛功裡に終了せしめた功績は甚だ大なるものがある。
- ② 松江市野球連盟
（会長・福島益太郎）
松江野球場名残りの行事として誘致した高松宮賜杯第17回全日本軟式野球（1部・2部）大会が48年10月3日～6日松江市に開催に際し、地元協会として大会の受入れ大会運営に中心的役割を果たし、これを無事成功裡に終了させた功績は甚だ大なるものがある。

会務報告

昨年1月15日、新年賀会当日、会報を発行来会者に配布し、加盟団体をはじめ各方面にも配布したが、今年も賀会に第4号を発行配布することとし、この一年間の会務報告をまとめて登載しました。

49・1・15 1時30分より恒例の新年賀会を松江レークガーデンで開催。

参加者は年々多くなり今年は264名。

先ず齋藤会長（市長）の年頭の挨拶に始まり、佐川市議会議長と岡田県体協理事長の祝辞の後、48年に中央表彰を受けられた

秋本盛一（藍綬表彰） 穴戸 稔（全日本軟式庭球連盟より）の2氏

に桂理事長から功績を讃える紹介があり、齋藤会長からお祝の記念品を贈呈。続いて加盟団体から提出された協議題について要旨の説明があり、参会者の総意により決意表明。議事を終えて祝宴にうつり、一同互いに健康を祝しあい盃を重ねたが、余興の市職員芸能クラブの賛助出演は素人はだしだとの大かっさいを拍し、会員の余興も相ついだが5時すぎ万才三唱のうちに閉会。

1・15 会報第3号発行。

1・19 オリエンテーリング1級指導員検定に新宮忠次派遣（合格）

1・22 故山内育二氏（元常務理事）未亡人を東京都田無市の宅へ和田副会長が訪ね野球遺品を頂戴して帰松。松江郷土館へ寄託。

1・26 日本体協のスポーツ指導員養成講習会に5名受講、合格者高階 等、白名 高、長岡 誠、陰山幸悦、和田正則。

2・2 県体協の協力を得て、ソフトボール3種公認審判員養成講習会開催、講師広島県 田井豊次氏。

2・13 高根県国体誘致委員会総会が県民会館中ホールで開かる。

3・8 県教委から松江市に体力づくり、健康の鍵運動実施市町村の指定があり普及をはかる。

3・3 壮年体力テストを秋鹿体協と協力実施。

3・19 新年度移行について加盟団体宛準備事項連絡並びに指示。

3・22 大野公民館と協力、県体協指定スポ



— 新年賀会に会長挨拶 —

ーツ相談室開設。

4・5 49年度利用の協会賞状・表彰バッヂの意匠出来上り業者へ発注。

4・13 湖城ライオンズの好意による250万円の寄附を基に市が白濁小学校々庭に夜間照明施設を施すことになり、点燈式挙行。桂理事長が体協・市民を代表して感謝の言葉を述べ、記念行事に、ミニサッカーとママさんバレーが使い初めの模範試合を披露。松江体協は市の委託をうけ10月末まで毎週火・木・土の3日間を原則とする100日間を管理することとなった。このため看視人に川井富夫氏と高階 等氏を委嘱。

4・15 第1回常務理事会を青年センターで開催。49年度の本会運営方針、第1回理事会開催の準備など協議。

4・23 第1回理事会を青年センターで開催49年度事業方針、予算、岸記念賞受表彰者を決定。白濁小学校々庭夜間照明による施設開放事業の市からの事業委託、体育事務職員の市からの委託について承認。

4・23 第2回常務理事会を開催。理事会から委任された岸記念賞追加の件を協議。前例としないことで追加決定。

4・27 白濁小夜間照明開放について学校側市教・体協の3者打合せ。

5・2 第9回市民体育祭開催基本要項の打合会を青年センターで開催。

5・2 白濁夜間照明使い初め松江サッカー。

5・8 県国体準備委員会設立総会が県民会館で開かれ、和田副会長代表出席。

5・21 第1回理事会議事録を加盟団体と本会役員宛発送。

5・25 岸記念賞トロフィー発注。

5・27 賞状・バッヂ加盟団体に配布。

5・29 特別会員用ネクタイ止、市長揮毫手

- 拭発注。
- 5・31 幹事上田智史君（体育課講師）退職、宍道町体育館勤務。
- 6・1 市社会人ミニサッカー大会が白濁夜間照明を利用して発足。松江体協からトロフィー寄贈。全国都市対抗卓球大会中国予選に本県代表として出場する松江市チームの強化練習を激励、金一封を贈る。
- 6・8 県体協評議員会に吉岡弘評議員出席。
- 6・18 城東公民館と協力、国民体力テスト実施。
- 6・21 本会事務局直通電話を協会役員の寄贈により開通。番号 24-7227。
- 7・11 花いっぱい運動の下準備のため、市農政課、森林組合、市教委、体協で忌部苗地視察、協議会を開く。
- 7・11 特別会員募集関係文書、ネクタイ止、手拭配布。
- 7・17 国体開催地元市町村と県国体準備室県体協との第1回ヒヤリング開催。
- 7・20 第9回市民体育祭第1部（球技）の番組抽せんと競技上の打合せを行う。
- 7・21 白濁公民館と協力、国民体力テスト実施。
- 7・27 竹矢体協と協力、壮年体力テストを実施。
- 7・28 第9回市民体育祭バレーボール大会開催。
- 8・4 第9回市民体育祭卓球・ソフトボール大会開催。
- 8・16～17 第9回市民体育祭少年の部野球、バレーボール大会開催。
- 8・20 本会幹事小笠原義弘氏（体育課講師）退職。京都府警察官となる。
- 9・12 茨城国体ヨット優勝の新家和憲、三島広之君を松江駅頭に出迎歓迎式で和田副会長挨拶。
- 9・17 県体協主催、松江地区市町村体協懇談会が県民会館で開かれ、和田副会長出席。募金などの状況聴取あり。
- 9・20 第2回理事会を青年センターで開催。銃剣道連盟の加盟を承認。松江球場さよなら行事の開催、体育の日の市民体育祭に加盟団体の入場行進を行う件、市立体育館建設募金協力などを再確認。
- 10・2 本会幹事足立松子さん（体育課主事）管理課へ転出。後任に永井積子さん（出納室より）転入。
- 10・10 第9回市民体育祭第2部開催。
- 10・19 総理府国民体力づくり事業の指定をうけ49年度本市に2カ所（大庭・古江）にオリエンテーリングのパーマネントコースを設定することが決まり、この日、大庭地区に施設。
- 10・20 パーマネントコース設定記念、オリエンテーリング大会開催。
- 10・29 松江球場さよなら行事、市内中学校野球大会 3試合。
- 10・31 白濁小照明開放事業本年度予定終了。
- 11・3～4 松江市武道大会（柔道・剣道・弓道・銃剣道）開催。
- 11・3～4 松江球場さよなら行事、市内高校3試合（3日）、市協会加盟会員3試合、市議対体協OB戦、功労者表彰、お別れパーティー挙行。
- 11・9 銃剣道新教則普及講習会を県体協の援助を得て全日本連盟佐々木、北野両範士を招聘して開催。
- 11・11 松江陸協幹事長 後藤定義氏の告別式が新町洞光寺で営まれ、和田副会長が特別焼香した。
- 11・13 県体協の全県スポーツ活動調査対象指定を受け、調査説明会開催。
- 11・29 本年度日本体協のスポーツ指導員養成講習会に卓球3人、サッカー2人の受講志願あり、受講料を援助。9日間講習
- 12・2 年末にあたり加盟団体に事務連絡文書発送。
- 12・15 松江アマチュア・ボクシング協会の創立総会が青年センターで開かれ、齋藤市長（会長）と和田副会長出席。後日体協加盟を機関にはかることを約す。
- 12・23 本会第3回常務理事会を白鳥会館で開き、50年新年賀会、市立体育館建設募金48年度決算、松江アマチュア・ボクシング協会の加盟、会報第4号発刊、松江野球場さよなら行事、市委託事業などについて報告並びに協議を行う。
- 12・26 県体協の協力を得て陸上競技研究会を開催。講師として筑波大学助教授小林一敏氏を招聘、“運動技術指導のためのキネシオロジーの要点”の講義を受ける。

“松江野球場さようなら”

松江球場が竣工し都市対抗の雄、全大阪対全神戸の華々しい一戦を披露したのは昭和7年7月17日のことだった。市が総合グランド建設に着手、4年に先づ陸上競技場を建設、続いて完工したのが球場である。当時中国に冠たるこの施設を拠点に松江体協はスポーツ振興事業に一大飛躍をとげたのであった。

爾來42年体育館敷地に転用のため球場の移転がきまったとき饒けに48年10月、高松宮様をお迎えして本県球界初の全国軟式野球大会を盛大に開催した。ところが突然のオイル・ショックのおおりで体育館建設計画は無期延期されたのだった。

だが今度は間違いなく松江球場と永訣する日がやってきた。本会では市野球連盟などと実行委員会を結成し、“松江野球場さようなら”記念行事を開催。市内中学、同高校、社会人軟式選抜チーム、市議対体協OB戦と夫々に名残りを惜んでの試合をしぼしたのしんでもらった。また球場管理の功労者として、加

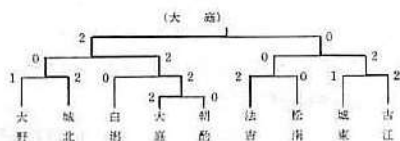
藤幾蔵（創設当時の市主任技師）、山根万市（戦後復興11年間管理人）、福島孝蔵（同9年間管理人）、佐藤美代子（親子4代球場整備）の4氏に対し感謝状と記念品を贈呈、愈々のフィナーレはグランドでファイヤーを囲んでのさよならパーティー、43年間の各人数々の思い出を語り合い時の経つのも忘れる程だった。惜別の万感胸に迫るものがあったが、新球場の早期完成に努力を誓い、球界の今後の一層の隆昌を祈念しつつ螢の光の曲の流れる中を万才三唱、三々伍々解散したのだった。



さよなら行事の式典

第9回松江市民体育祭 少年の部

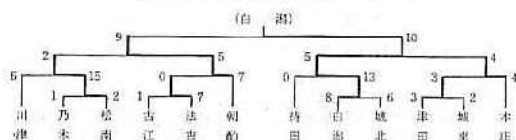
少女バレーボール



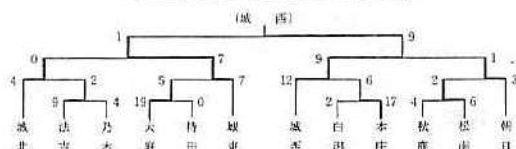
学童女子バレーボール

地区名	城	東	乃	本	本	庄	松	南	晴	位
城			×		○	△	○			2
乃		○			○	○				1
本		×	×			○				3
松			×	×						4

少年野球大会



学童野球大会





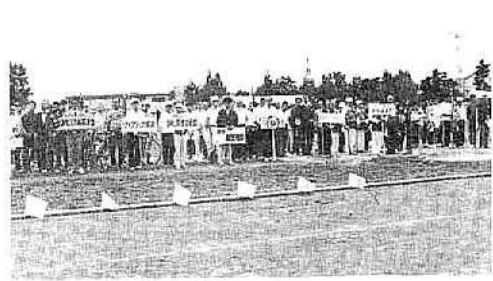
第2部入場行進の朝酌選手団



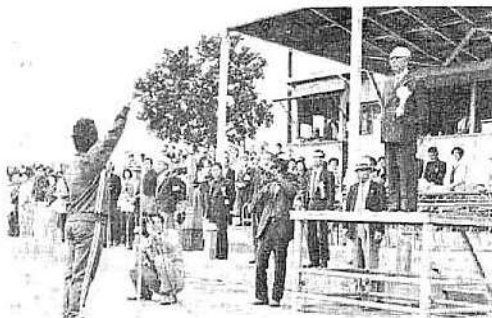
第2部入場行進の古江選手団



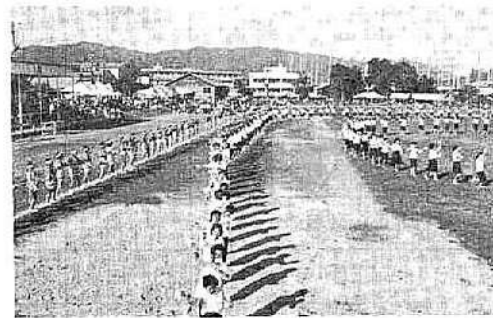
本部席前通過の松江弓友会



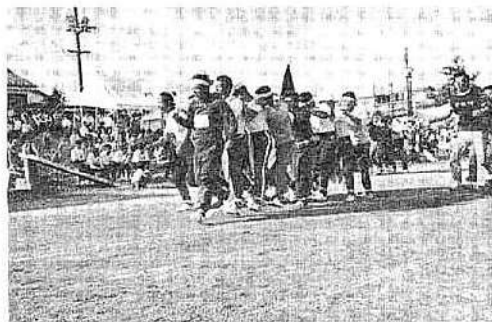
開会式に整列した松江体協34加盟団体の一部



選手代表として宣誓をする昨年総合優勝の大庭の諏訪晴子さん。



松江市連合婦人会員600名による松江踊り



接戦のむかで競走



栄えある1部・2部総合優勝を飾った法吉公民館

(昭和49年度)

第9回松江市民体育祭総合得点一覧表

種 目	地 区																				
	大 庭	法 吉	朝 日	白 濁	津 田	松 南	城 東	川 津	生 馬	乃 木	城 西	古 江	秋 鹿	忌 部	本 庄	朝 酌	竹 矢	持 田	大 野	城 北	
第 一 部	男子バレーボール	19	10	24	19	10	10	12	14	14	24	10	14	14	10	12	12	10	10	10	
	女子バレーボール	12	24	14	19	19	14	24	10	10	10	14	12	12	14	12	10	10	10	10	
	ソフトボール	19	24	24	10	14	14	10	19	14	12	10	10	12	14	12	10	12	10	10	
	卓球	30	21	15	20	25	27	17	16	19	11	23	18	11	11	11	14	11	11	0	
	第1部総得点	80	79	77	68	68	65	63	59	57	57	57	54	49	49	47	46	45	41	41	30
	＃順位	1	2	3	4	4	6	7	8	9	9	9	12	13	13	15	16	17	18	18	20
第 二 部	3000M競走	2	1	2		5		1	2						6			1		4	
	(女)100M競走	1		2	2	1	1	2	6	2	2			3		3	1		3	1	
	(男)1200Mリレー	5	10	7	3	5	7	10	10	5	10	7	3	1	3	7	1	1	1	3	5
	置換リレー	10	5	5	7	5	7	1			1	3	1	3	3	7		10		10	
	(女)1200Mリレー	3	10	5	7	10	7	5	7	1	7	10	3	1	3	5	1	1	3	5	10
	重量運搬リレー	7	10	5	5	3	5	1	7	1	10	1	3	7	1	5	10	10	3	7	3
	玉入れ競争	5	7	3	7	1	7	3	7	5	1	1	5	10	10	10	3	3	10	5	1
	(男)100M競走	5	1		2		2	3	3				3			6	1			2	2
	おしどり二人三脚リレー	3	10	5	5	5	7	3		1	1	10	7	3		7			1	10	
	(女)250オリレー	10	7	1	10	10	3	3	5		1	7	3			7		5		5	1
	むかで競走		10	10	5	10	7	5	5		1	7	10	3	7		3	7		5	3
	(男)350オリレー	10	7	3		10	3	5	7		7	1	3		5	10	1			1	5
	キックボールリレー	10	10	10	1	1	5	5	1	5	7	3	1	5	3	7	7	10	3	7	3
	混成リレー	10	10		3	5	5	10	1	1	7	7	1		3			7	5	3	
	第2部総得点	81	98	58	57	71	66	57	61	21	55	57	43	36	38	80	28	54	30	64	37
	＃順位	2	1	8	11	4	5	10	7	20	12	9	14	17	16	3	19	13	18	6	15
1部・2部総合得点	161	177	135	125	139	131	120	120	78	112	114	97	85	87	127	74	99	71	105	67	
1部・2部総合順位	2	1	4	7	3	5	8	9	17	11	10	14	16	15	6	18	13	19	12	20	

市民体育祭の花開く

— 輝やく総合優勝旗は法吉の手に —

— 球技は大庭・陸上は法吉が制覇 —

昭和41年体育の日が制定されたのを記念して、この年発足した松江市民体育祭は今年が第9回目である。

松江体協は市とタイアップして市民総体育を目指し1人でも多くの参加をねがって47年から加えた少年の部と従来からの第1部の夏季球技、体育の日の第2部陸上総合をそれぞれ開催した。

その悼尾を飾る第2部の開会式、恩田楽長指揮する県警音楽隊の奏でる軽快なマーチに乗って、桂理事長の先導するボーイスカウト隊員とスポーツ少年団々員による大会ブラカード、国旗、市旗、体協旗と続くあとに入場行進する各小学校々区20公民館の役員選手団2,500名、これに続くは松江体協に8月34番目に新加盟した銃剣道連盟を含む各加盟団体が種目毎に工夫をこらしたブラカードと競技カラーのユニフォーム姿でトラックを一周してスタンドを埋める観衆の歓呼を浴びる。

この日を祝福するかのようにグラウンドの上空は見渡す限り澄み切った青空が広がり陽光が輝き申し分のないスポーツデーである。

選手団入場行進のバレーが終ると岡大会委員長により開会が宣せられ、国旗などの掲揚があり前年度栄光の記録をとどめる大優勝旗・トロフィーなどが一斉に返還され大会長齋藤市長の挨拶、佐川市議会議長の祝辞、金山審判長の競技上の注意があり、参加選手一同を代表して前年度総合優勝の大庭公民館チーム諏訪晴子さんが力づくよく宣誓、市民憲章を全員で唱和のあと児童合唱団による市民憲章の歌の合唱があり式を終る。

さて競技成績、少年の部は採点しないことに

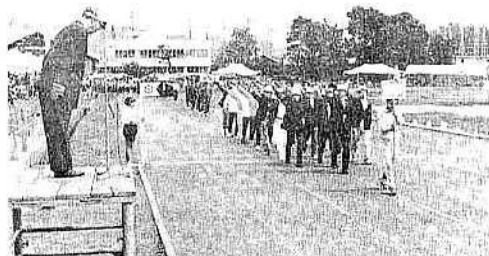
なっているが第1部球技と第2部陸上と、その合計得点による総合得点は前掲の通りである。バレー・ソフト・卓球の第1部で2位だった法吉は1点差をつけられた大庭を陸上で逆転しようと懸命に追い上げれば、さわさせじと松南・本庄・津田なども善戦を続け一競技毎に応援団を一喜一憂させたが、昨年総合で143対142と僅か1点差で大庭に苦盃をなめさせられた法吉の陸上にかかる執念は応援団・選手一丸となって突進また突進、陸上の連勝と総合にも宿願の制覇を成し遂げたのだ。以下総合順位は②大庭、③津田、④朝日、⑤松南、⑥本庄と決定した。

追いつ追われつの競技の合間に、体協事務局が趣向をこらして即席編輯発行の大会号外ニュースが6回も応援団席に配布されたり、連合婦人会員600名の松江ばやしや郷土文化を守る会の会員の色調豊かな踊り、小学生の松江じまん、幼稚園児のリズム遊びなどがフィールド一杯に繰り展げる絵巻模様の演技は大会に花を添えスタンドから大きな拍手が送られた。

各公民館の応援合戦も熱がこもり、会場のふんいきを大いに盛り上げるものがあったが全公民館には本部から応援団賞が贈られ、中でも応援ぶりの内容を買われて忌部、松南、朝日、城東、大野には特別賞が授与され、終日場内を沸かした市民体育祭第2部も大きな盛り上りのうちに閉幕、体育の日の意義を理解し、市民お互が自らの健康・体力つくりと明るい松江市を建設しようとの決意を新たにしつつ、49年度市民体育祭を無事終了したのだった。

加 盟 団 体 行 事

松江市陸上競技協会 (会長 金山 下)



金山会長以下の行進

- 3・10 松江二中
 - ㊥ 日本陸連公認審判員認定講習会 58名
- 3・21 松江市役所前←→秋鹿
 - ㊥ 第8回松江ロードレース大会
一般・高校・小中学生 132名
- 6・28~30 松江陸上競技場
 - ㊥ 第58回全山陰陸上競技大会
両県一般・小中高高校生 1,580名
- 7・7 城山一周コース
 - ㊥ 第7回松江体力づくり走ろう大会
各年令別一般・小学生 45名
- 9・29 松江陸上競技場
 - ㊥ 第1回松江陸上競技選手権大会
一般・小中高高校生 230名
- 10・10 松江陸上競技場
 - ㊥ 第9回松江市民体育祭
- 10・27 城山一周コース
 - ㊥ 第8回松江体力づくり走ろう大会
老壮年 56名
- 11・3 松江市役所←→秋鹿
 - ㊥ 第20回松江市駅伝兼第9回松江ロードレース大会
22チーム 公民館・高校 152名
- 12・1 松江市役所←→秋鹿
 - ㊥ 第3回松江職域対抗駅伝競走大会
16チーム 128名
- 50・1・1 城山一周コース
 - ㊥ 元旦走りぞめ大会 90名

松江陸協幹事長、後藤定義氏(中電工)は11月2日、平田市で魚つり中、遭難死亡、享年48才。陸協会の柱石であっただけに哀惜に堪えないものがあり、冥福を祈る次第である。新幹事長は須山春雄氏(松一中教)



松江体協特別会員・荒木八洲雄さん(47)は体力づくり走ろう会の常連でもあるが、去る12月4日から一週間、サイパン島の日本人戦死者慰霊碑の前で、銭太鼓や安来節など郷土民謡で霊を慰め帰郷した。写真は松江走ろう大会の出場姿そのままに日常生活の1コマをサイパン島にて写す。

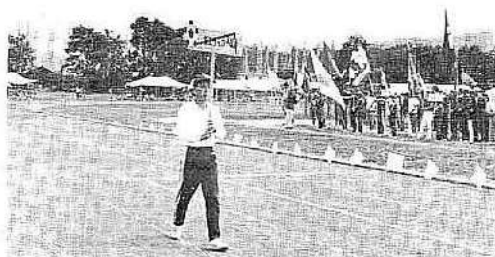
松江水泳連盟 (会長 吉岡正吉)



温水プールで成績向上の水連の行進

- 6・8~9 青年センター・津田小プール
 - ㊥ 第1・2種公認競技役員講習会
市内一般 50名
- 7・25 島大
 - ㊥ 第4回出雲地区年令別選手権大会
小・中・高生 196名
- 8・13 松工高
 - ㊥ 第12回松江市民水泳競技大会
小・中高大学一般 135名
- 9・23 津田小
 - ㊥ 第7回松江市小中学校新人大会
小中 84名
- 10・5 津田小
 - ㊥ 田口選手招待松江市特別水泳教室
小・中・高 150名

松江地区サッカー協会 (会長 小川宏)



サッカー代表の行進

- 4・13～14 農林高校グラウンド
 ⊕ 松江地区高校春季サッカー大会
 市内高校生 100名
- 5・2 白濁小グラウンド
 ⊕ 社会人サッカー技術講習会
 市内社会人 40名
- 5・4～5 島大附小グラウンド
 ⊕ 第5回松江少年少女サッカー交歓会
 市内小学生 220名
- 5・8、16 青年センター
 ⊕ 社会人サッカー審判法講習会
 市内社会人 60名
- 5・11～12 松江二中グラウンド
 ⊕ 松江地区中学校春季サッカー大会
 市内中学生 160名
- 4・7～7・21 島大・高専グラウンド
 ⊕ 松江社会人サッカーリーグ(前期)
 市内社会人 220名
- 6・8、22、29 白濁小グラウンド
 ⊕ ミニ・サッカー大会
 市内社会人 50名
- 8・2～10 島大グラウンド
 ⊕ 日立サッカースクール松江会場
 市内小中学生 150名
- 9・1～12・15 島大・高専グラウンド
 ⊕ 松江社会人サッカーリーグ(後期)
 市内社会人 220名
- 9・7～8 島大グラウンド
 ⊕ 第3回松江市小学生サッカー交歓会
 市内小学生 180名
- 9・27～28 島大グラウンド
 ⊕ 松江市小学校サッカー大会
- 9・28～29 農林高校グラウンド
 ⊕ 松江地区高校秋季サッカー大会
 市内高校生 120名

- 11・23 松江二中グラウンド
 ⊕ 松江地区中学校サッカー秋季大会
 市内中学生 140名
- 4月～3月 島大グラウンド
 ⊕ サッカースクール9回生
 小学生3～6年 150名

松江市スキー協会 (会長 野津吉男)

- 1・19～20 三瓶スキー場
 ⊕ 松江市スキー指導者講習会 30名
- 2・2～3 大山スキー場
 ⊕ 松江市民スキー教室 88名
- 2・10 大山スキー場
 ⊕ ジュニアースキー教室 42名
- 3・10 大山スキー場
 ⊕ 第6回松江地区スキー競技大会 110名

松江地区銃剣道連盟 (会長 和田邦市)

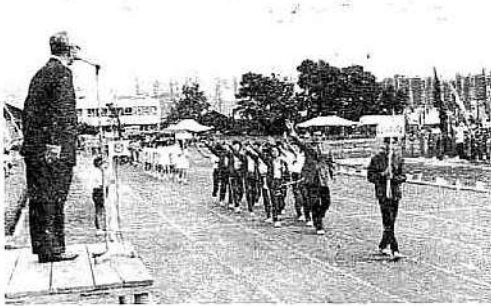
- 9・8 県立武道館
 ⊕ 第7回島根県武道振興大会
 支部会員 20名
- 10・10 松江市営グラウンド
 ⊕ 松江市民体育祭 支部会員 12名
- 10・10 松江日大附属高校
 ⊕ 銃剣道普及指導並に模範演技
 支部会員 15名
- 10・23 松江護国神社
 ⊕ 護国神社奉納銃剣道大会
 島根県銃剣道会員 40名
- 11・3 島根県武道館
 ⊕ 松江市民武道大会 支部会員 12名
- 11・9 島根県武道館
 ⊕ 銃剣道技術普及講習会
 支部会員 15名



新加盟の意気高らかに行進

松江バレーボール協会 (会長 吉野晴雄)

- 2・24 市立体育館 (男) 農林高校 (女)
 ㊦ 松江市中学生6人制バレーボール優勝大会
 男1部①二中②附中③一中・秋鹿
 2部①三中②二中③四中・一中
 女1部①一中②大庭③附中・大野
 2部①一中②占江③大野・秋鹿
 男 156名 女 180名
 合計 336名
- 3・31 市立体育館
 ㊦ 松江市家庭婦人バレーボール大会
 ①大庭②白潟③津田・城東 100名
- 3・17 二中体育館
 ㊦ 全日本ジュニアバレーボール大会
 150名
- 7・28 市立体育館 (男) 一中体育館 (女)
 ㊦ 第9回松江市民体育祭(第1部)バレーボール



全国家庭婦人バレー大会県代表
大庭チーム行進

松江アーチェリー協会 (会長 金山 千)

- 4・7 尾道市立両藤小学校
 第11回中四国アーチェリー・チャンピオンシップ 参加者11名
- 5・5 浜佐陀埋立地
 ㊦ 第4回松江アーチェリー春季競技大会
 競技者39名
- 5・26 浜佐陀埋立地
 ㊦ 第4回松江アーチェリー秋季競技大会
 競技者43名
- 11・24 松江アーチェリーレンジ
 ㊦ 第5回松江アーチェリー秋季競技大会
 競技者38名
- 12・1 松江市営野球場
 ㊦ 第5回島根県アーチェリー秋季競技大会
 競技者40名
 ◎松江市の御厚意により、松江市営野球場を使用。同球場の有終の美を飾った。

1・12 松江アーチェリーレンジ

- ㊦ 技能研究会

松江地区剣道連盟 (会長 浅野俊雄)



少年剣士の入場行進

- 6・16 県立武道館
 ㊦ 松江地区青少年剣道大会
 松江・八東郡内の青少年 467名
- 7・25 県立武道館
 ㊦ 暑中稽古
 松江、八東郡内の老壮青少年 280名
- 9・8 県立武道館
 ㊦ 島根県武道振興大会
 県内各地区代表 206名
- 10・13 県立武道館
 ㊦ 県下段級別選手権大会
 県内一般及学生 176名
- 11・4 県立武道館
 松江、八東郡内の青少年 564名

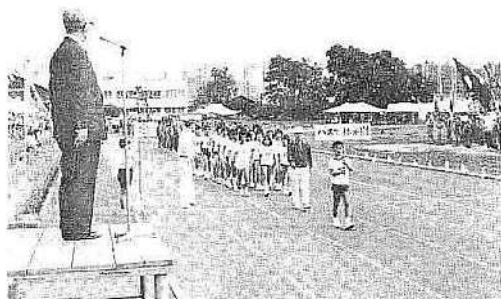
松江山岳協会 (会長 柿田芳夫)

- 7・20 吾妻山周辺
 ㊦ 指導員研修会 18名
- 11・3 北山(鼻高山)～鰐淵寺
 ㊦ 市民ハイキング 43名



北山にて

松江市バスケットボール協会 (会長 須田豊三郎)



バスケットボール教室生徒の行進

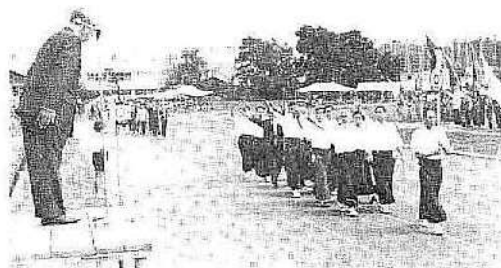
- 1・27、2・3、2・10、2・17 松江一中 四中体育館
 ㊦ 市内中学校バスケットボール強化練習
 及審判講習 市内中学生 100名
 3・28、29 神戸市
 ㊦ ミニバス全国交歓大会
 市内小学生 30名
 5・5 松江第一中学校体育館
 ㊦ 松江市ミニバスケットボール教室開校
 式 市内小学生 70名
 5・26 松江工業高校体育館
 ㊦ 松江市職場対抗バスケットボール春季
 大会 一般男子 60名
 11・9、10 津田、中原、母衣小学校体育館
 ㊦ 松江市小学校バスケットボール大会
 市内小学生 350名
 12・1 松江市第一中学校体育館
 ㊦ 松江市職場対抗バスケットボール秋季
 大会 一般男子 30名
 12・5、6 白湯、津田小学校体育館
 ㊦ 松江市小学校バスケットボール大会
 市内小学生 400名

松江ヨット協会 (会長 浅野俊雄)

- 6・22～23 宍道湖浜佐田沖
 ㊦ 第29回国民体育大会ヨット競技県予選
 県内一般男子 25名
 7・20～21 恵曇～魚瀬水城
 ㊦ 日本海ロングレース
 自由参加 30名
 8・24～25 大根島周辺水城
 ㊦ 第2回大根島一周レース
 島根鳥取高校一般 80名
 10・10、12、13 宍道湖浜佐田沖
 ㊦ 第8回全山陰ヨット競技選手権大会
 島根鳥取高校一般 100名

松江弓友会 (会長 安達広悦)

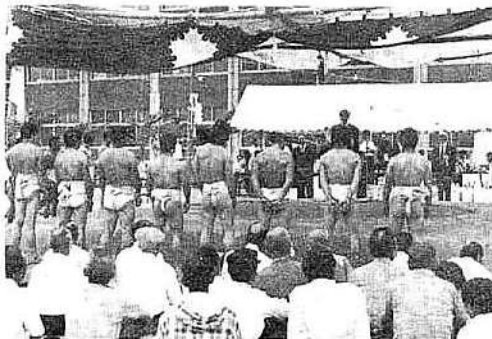
- 1・7 県立武道館弓道場
 ㊦ 昭和49年射初め射会 17名
 1・25 県立武道館弓道場
 ㊦ 1月 月例射会 25名
 1・25～2・3 県立武道館弓道場
 ㊦ 昭和49年度寒稽古 延 120名
 2・11 県立武道館弓道場
 ㊦ 2月 月例射会(県通信射会) 21名
 3・17 県立武道館弓道場
 ㊦ 3月 月例射会 15名
 4・14 大田市物部神社弓道場
 ㊦ 山陰弓道選手権大会 5チーム
 4・21 県立武道館弓道場
 ㊦ 4月 月例射会 20名
 4・29 県立武道館弓道場
 ㊦ 松江市弓道大会 鳥取県を含む 225名
 5・12 県立武道館弓道場
 ㊦ 5月 月例射会 15名
 6・2 大田市弓心館弓道場
 ㊦ 岸賞争奪支部対抗弓道大会 1チーム
 6・16 島根大学弓道場
 ㊦ 島大創立記念弓道大会 20名
 7・20 県立武道館弓道場
 ㊦ 7月 月例射会 15名
 7・20、28 県立武道館弓道場
 (城山弓道場)
 ㊦ 昭和49年度 土用稽古
 8・18 県立武道館弓道場
 ㊦ 8月 月例射会 15名
 8・31 9・1 県立武道館弓道場
 ㊦ 中国地域連合講習会 延30名
 9・8 県立武道館弓道場
 ㊦ 島根県武道振興大会 29名
 9・22 県立武道館弓道場
 ㊦ 9月 月例射会 19名
 9・29 大田市弓心館弓道場



連盟会員の行進

- ⊕ 鳥根県弓道選手権大会 3チーム
- 10・13 県立武道館弓道場
10月 月例射会(壮行会) 19名
- 11・3 県立武道館弓道場
- ⊕ 松江市武道大会 116名
- 11・7 県立武道館弓道場
- ⊕ 11月 月例射会 15名
- 12・1 県営米子弓道場
- ⊕ 鳥取鳥根両県対抗弓道大会 各17名
- 12・15 松江市内中原町 松田道場
- ⊕ 12月 月例射会(納会) 30名
(本年度昇段昇格祝賀射会)

松江市相撲連盟 (会長 門脇憲次郎)



納涼相撲大会の開会式

- 7・21 松江市末次公園特設相撲場
- ⊕ 第9回松江市納涼相撲大会 150名
- 7・28 松江市末次公園特設相撲場
- ⊕ 第29回国民体育大会鳥根県予選大会 50名
- 8・25 松江市立川津小学校特設相撲場
- ⊕ 第4回松江市嵩ブロック少年相撲大会 60名

松江市オリエンテーリング協会

(会長 玉木常吉)

- 5・11~12 県民会館 梁山公園
- ⊕ 鳥根県オリエンテーリング指導者講習会 一般県民 80名
- 5・12 梁山公園
- ⊕ 松江市オリエンテーリング家族大会 一般市民 60名
- 8・8 広瀬町
- ⊕ 松江市子ども会リーダー研修会オリエンテーリング実習 市内子ども会リーダー 160名
- 10・20 大庭小学校
- ⊕ 松江市民オリエンテーリング大会

- 一般市民 170名
- 11・10 津田小学校(公民館)
- ⊕ 津田地区オリエンテーリング大会 津田地区民 100名



玉木会長以下OLの行進

松江地区柔道連盟 (会長 佐野 広)

- 1・9~14 県立武道館
- ⊕ 寒げいこ 小、中、高、大、一般合せて延 350名参加
- 1・27 鹿島町「時習館道場」開き、参加者小学生80名、他70名
- 3・24 県立武道館
- ⊕ 昇級昇段試合 中~一般合せて50名
- 5・26 県立武道館
- ⊕ 松江地区柔道選手権大会 小(低、中高)中(学年別)高(学年別)大学一般(段別年令別) 計 280名
- 6・2 県立武道館
- ⊕ 昇級昇段試合及び審議会 40名
- 6・19 県立武道館
審判員として松江地区柔連より10名参加、大会運営に協力する
- 7・14 県立武道館
- ⊕ 第4回県少年武道大会 鳥都市より30団体約 350名の小中学生参加。松江地区からも武道館、講武館、時習館より小学生が、中学は一、三、四中の代表が参加
- 7・29~8・3 県立武道館
- ⊕ 地区暑中げいこ 小~一般 延 300名
- 8・18 県立武道館
- ⊕ 国体県予選並びに12回県段別年令別大会 国体選手として松江地区より4名県代表となる。
- 8・30 県立武道館
- ⊕ 審判講習会 学校関係、一般 40名
- 9・8 県立武道館
- ⊕ 第7回武道振興大会 小(低、中、高)

- 中(学年別)高(学年別)一般(年令別)
それぞれトーナメント戦 255名
松江地区柔連が中心になって運営に参加
- 10・6 県立武道館
㊦ 第9回島根県三地区柔道大会 西中、東の三地 によるリーグ戦
各チーム15名(一般10高校5) 計45名
- 10・13 県立武道館
㊧ 昇級昇段試合 45名
- 11・3 県立武道館
㊨ 松江市柔道大会 小(低、中、高)中(学年別)高、一般で小学校は個人戦中〜一般は団体戦、54チーム参加 260名
- 11・16~17 県立武道館
青少年柔道指導者講習会(松江会場)
県下で浜田と松江の二会場で講道館指導員を招いての講習会、出雲地区の小中高校生と指導者が参加 40名
- 11・24 県立武道館
㊩ 鳥取、島根両県親善柔道大会 各県とも25名(高校、大学、一般、警察、教員各5)のチームで対戦
- 12・14 ジャイアンツサウナ
地区柔連会長叙勲祝賀会並びに反省会
今年の反省と来年の抱負について語り、又柔道振興基金についても協議する40名
- ※ 毎月1回土曜日の午後、県立武道館で小学校より一般までの合同練習会を開催。

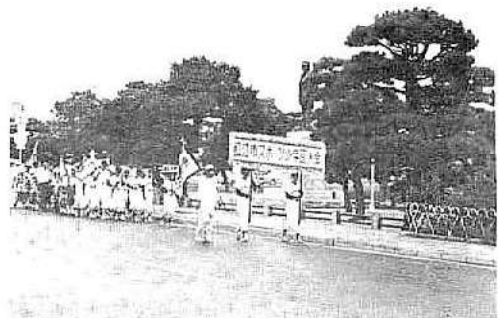
松江市スポーツ少年団(本部長 岡磯吉)



国民体力テスト実施

- 2・19~20 灘町青年の家
㊪ 島根県スポーツ少年団指導者研修会
- 2・24 県立武道館
㊫ 島根県スポーツ少年団交歓剣道大会(中学の部) —松江一中剣道少年団優勝(小学の部) 内中原剣道少年団優勝
- 4・25 青年センター
理事会で49年度行事計画決定

- 5・14 青年センター
指導者連絡協議会総会開催
- 6・14~15 玉野市青少年センター
中国ブロック指導者研修会 1名参加
- 6・27 本庄中野球スポーツ少年団結団式
- 7・9 城北公民館
理事会で行事打合せ
- 7・29 むらくも会館
県下市町村スポーツ少年団指導者会議が開催され、かねてより松江市から建議していた島根県スポーツ少年団指導者連絡会(仮称)結成に踏み切ることがきまり規約草案づくりを松江市が担当することになる。
- 7・30 秋田県で開催の全国スポーツ少年団大会に本市より3名のリーダーを派遣することになっていたが、国鉄ストのため参加とりやめ。
- 8・4 県立武道館で開催の全日本大学高校なぎなた選手権大会に、団員70名開会式のプラカード持ちなどに協力。
- 8・6~8 大山で開かれた五県スポーツ少年団大会に、井後指導者と団員(リーダー)7名参加。
- 8・17~18 姉妹都市宝塚市スポーツ少年団の後藤団長以下役員と団員57名がバスで来松。第1日は風土記の丘や熊野大社へ案内、松江の団員宅に分宿してもらい、家族団らん。第2日は、乃木小学校でスポーツの交歓試合を行い、記念のペナントも交換したが翌年は松江市が訪問し今後交互に当



大会の市中行進

- 番することとなった。
- 9・1 松江市役所前——松江陸上競技場
昭和49年度松江市スポーツ少年団大会
全市42団の指導者、団員 300名参加
市役所前——県庁前——大手前——米子町——松江競技場の道順で市中行進を行い、会場到着後、大会式典を挙行。午後は全団員が国民体力テスト(立幅とび、時間往復

走、上体起し、腕立伏臥腕屈伸、5分間走)を実施した。

9・29 朝日小学校

学校開放事業の橋南実験地区発表会に朝日剣道スポ少と朝日銀輪スポ少が発表。

10・27 城東女子バレーボール、スポーツ少年団結団式

12・8 母衣小学校

学校開放事業の橋北実験地区発表会に城東バレースポ少が発表、城東ママさんチームと指導者との交歓試合も行う。

12・9 大田市勤労青少年センター

島根県スポーツ少年団指導者研修会に5名参加。島根県スポーツ少年団指導者連合会設立を議し、規約制定、本日をもって創立にきまる。本年中に各市町村本部から理事の推薦を求め、新春早々、初理事会を開催して、役員を選出の上、今後の活動など協議する。

松江市バドミントン協会 (会長 原立市)

4・27～28 松江商、島根商体育館

② 島根県春季選手権大会
県内一般、高校男女 150名

6・7～9 松江商、島根商体育館

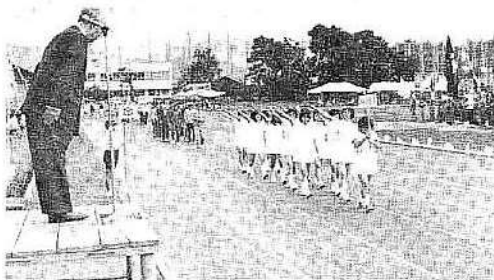
② 県高校総体
優勝 松江市女
高校男女 180名

9・15～16 市立体育館、市立女子高

② 中国実業団選手権大会
36団体と120名の個人男女

11・16～17 島根商、松江商体育館

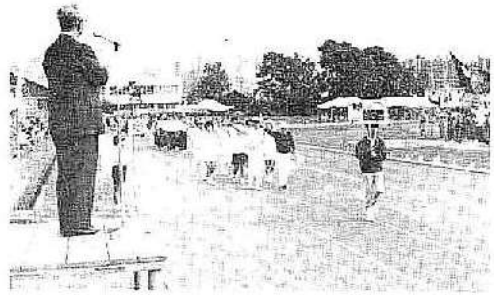
② 島根県高校新人大会
優勝松江市女
県内200名高校男女



活躍した市女子高チームの行進

松江市軟式庭球連盟 (会長 鈴木繁徳)

4・14 城山コート



軟庭クラブ員の行進

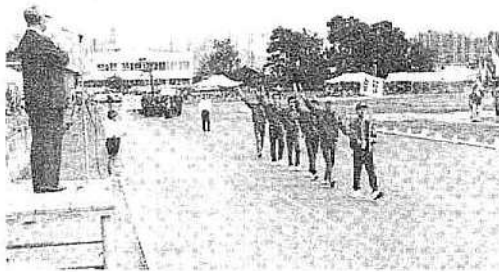
- ② 松江市春季団体対抗大会
市内職域クラブ大学等 48名
- 5・12 市営楽山コート
- ② 松江市民春季大会
市内高校、一般 128名
- 5・19 城山コート
- ② 松江市春季職域大会
市内職域チーム 50名
- 8・4 市営楽山コート
- ② 松江市民夏季大会
市内高校、一般 80名
- 9・15 市営楽山コート
- ② 岸杯大会
市内高校、一般 62名
- 10・13 市営楽山コート
- ② 松江市秋季職域大会
市内職域チーム 30名
- 10・20 市営楽山コート
- ② 松江市民秋季大会
市内高校、一般 86名
- 10・27 市営楽山コート
- ② 松江市秋季団体対抗大会
市内職域クラブ大学等のチーム 30名

松江市なぎなた連盟 (会長 大野 繁子)

- 6・22～23 松江三中
- ② 審判講習、東部地区選手権大会
中、高生、一般(出雲・松江) 35名
- 7・28 松江三中
- ② なぎなた指導者審判講習
小、中、高教員、一般(出雲・松江) 61名
- 8・3～5 県立武道館
- ② 第13回全国高校、大学選手権大会
高校、大学(全国) 350名
- 9・8 県立武道館(内中原小)なぎなたの部
- ② 第7回武道振興大会
高校、一般(全県) 39名

松江市卓球連盟 (会長 鐘築孝男)

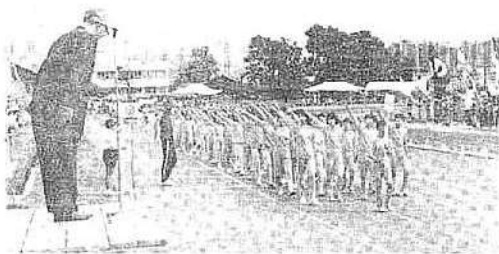
- 4・28 市立体育館
 ㊦ 第9回松江市長杯争奪卓球大会
 延約 400名
- 5・19 市立体育館
 ㊦ 昭和49年度松江市職域対抗卓球大会
 19チーム 個人戦80名
- 5・1～6・10 西津田町プレイ・ピンポン
 ㊦ 第28回全国都市対抗 松江市代表選手
 強化合同練習
 15名
- 11・10 市立体育館
 ㊦ 昭和49年度松江市民レクリエーション
 卓球大会
 延約 250名



全国都市対抗県代表松江チームの行進

松江市体操連盟 (会長 柳原弘義)

- 11・23 城北小体育館
 11校52名
 第2回松江市小学校児童体操競技大会



体操教室会員の入場行進

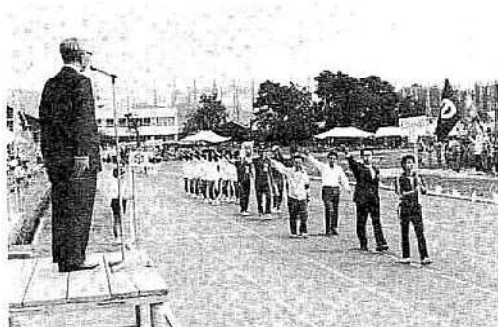
松江市中体連 (会長 早田伊勢松)

- 6・19 県立武道館

- ㊦ 第8回市中学校総体 剣道
 市内中学生 80名
- 6・19 県立武道館
 ㊦ 第8回市中学校総体 柔道
 市内中学生 45名
- 6・20 県立武道館
 ㊦ 第8回市中学校総体 体操競技
 市内中学生 90名
- 6・19～20 大庭中体育館
 ㊦ 第8回市中学校総体 卓球
 市内中学生 100名
- 6・19～20 松江市営野球場
 ㊦ 第8回中学校総体 野球
 市内中学生 36名
- 6・19～20 松江市営楽山コート
 ㊦ 第8回市中学校総体 庭球
 市内中学生 50名
- 6・19～20 附属中体育館、松江二中体育館
 ㊦ 第8回市中学校総体 バレーボール
 市内中学生 200名
- 6・19～20 附属中グラウンド
 ㊦ 第8回市中学校総体 サッカー
 市内中学生 100名
- 6・19～20 松江一中体育館
 ㊦ 第8回市中学校総体 バスケット
 市内中学生 100名
- 6・8～9 附属中、松江二中グラウンド
 ㊦ 第7回出雲地区中学校サッカー大会
 出雲地区中学生 180名
- 6・25 松江陸上競技場
 ㊦ 陸上記録会
 市内中学生 200名
- 7・12 松江二中プール
 ㊦ 第25回松江市中学校水泳競技大会
 市内中学生 100名
- 8・2～3 松江農林高校体育館
 ㊦ 第4回中国中学校バスケット大会
 中国地区中学生 200名
- 9・7 松江一中体育館
 ㊦ 市中学校教職員レクリエーション大会
 市内教職員 150名
- 9・10～11 松江市営楽山コート
 ㊦ 市中学校新人庭球大会
 市内中学生 50名
- 9・18 松江陸上競技場
 ㊦ 第25回松江市中学校陸上競技大会
 市内中学生 650名

- 10・29 松江市営球場
 ㊥ 第18回松江市中学校新人野球大会
 市内中学生 50名
- 10・31 松江市営楽山コート
 ㊥ 第6回出雲地区中学校新人庭球大会
 出雲地区中学生 120名
- 10・31～11・1 附属中 松江一中体育館
 ㊥ 第21回市中学校新人バレーボール大会
 市内中学生 200名
- 10・31～11・1 松江三中体育館
 ㊥ 第23回市中学校新人卓球大会
 市内中学生 100名
- 10・31～11・1 松江一中グラウンド
 ㊥ 第14回市中学校新人サッカー大会
 市内中学生 100名
- 11・20～21 松江一中体育館
 ㊥ 第11回市中学校新人バスケット大会
 市内中学生 100名
- 11・27～28 一中、二中、四中体育館
 ㊥ 第19回出雲地区中学校新人
 バスケット大会
 出雲地区中学生 500名

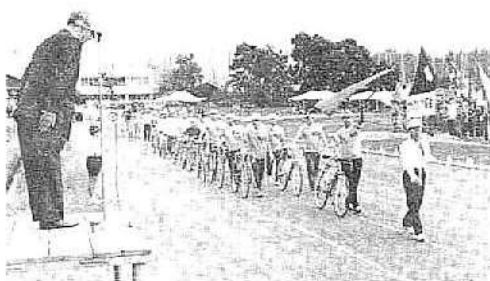
松江市ソフトボール協会 (会長 岩出篤明)



国体に本県で初出場の松商
 ナインも行進

- 2・2～3 松江市青年センター
 ㊥ ソフトボール第3種公認審判員認定講習会
 一般男子 30名
- 6・2 母衣小学校グラウンド
 ㊥ 第4回松江市職域・地域ソフトボール
 選手権大会。
 一般男子 120名
- 11・10 松江商業高校グラウンド
 ㊥ 第3回県東部地区一般・高校女子ソフト
 ボール選手権大会 60名

松江サイクリング協会 (会長 森 秋重)



サイクリング協会役員・会員
 の入場行進

- 4・7～9・29 松江市民おはようサイク
 リング大会 23回 延 4,156名
- 5・5 第15回松江市民サイクリング
 朝酌町須山牧場 183名
- 10・13 第16回松江市民サイクリング
 八雲村星上山 130名
- 4・14 第1回クラブラン
 第15回市民サイクリングコース調査28名
- 6・16 第2回クラブラン 宍道湖一周28名
- 7・21 第3回クラブラン 県ラリーコース
 調査を兼ね 玉湯～菅原天神 17名
- 8・11 第4回クラブラン 中海一周 23名
- 9・11 第5回クラブラン 日御碕 12名
- 10・6 第6回クラブラン 第16回市民サイ
 クリングコース調査を兼ね 20名
- 1・5 第2回松江市民初詣サイクリング大
 会 熊野大社 80名

松江射撃協会 (会長 小川 宏)

- 4・14 第1回クレイ射撃大会
 持田町 県クレイ射撃場
- 4・21 第2回クレイ射撃大会
 宍道町 来待射撃場

松江市小学校体育連盟 (会長 門脇秀雄)

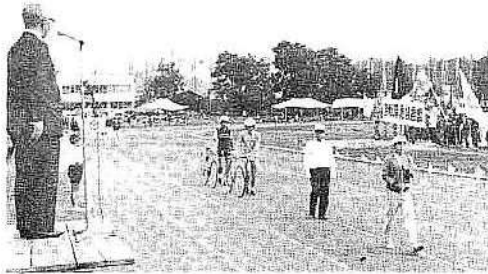
- 8・25～26 第9回松江市小学校水泳競技大
 会 城北小学校プール 9校 246名
- 9・27～28 第8回松江市小学校サッカー大
 会 島根大学グラウンド 16校

ライフル射撃 (会長 渡部熊夫)

- 9・7～8 法吉町 島根県ライフル射撃場
 島根県警察学校射撃場
 第9回中国・四国ライフル射撃選手権
 大会 延 205名

松江自転車競技連盟 (会長 古川重三郎)

- 5・5 クラブ員1回 1,000mタイムトライアル 長江干拓道 12名
- 5・12 同上 11名
- 6・2 枕木山ヒルムクラム 米子支部と対戦 10名
- 6・16 県ロードレース合同練習
中海 宍道湖一周 8名
- 6・21 クラブ員2回 1,000mタイムトライアル 12名
- 7・7 県ロードレース合同練習

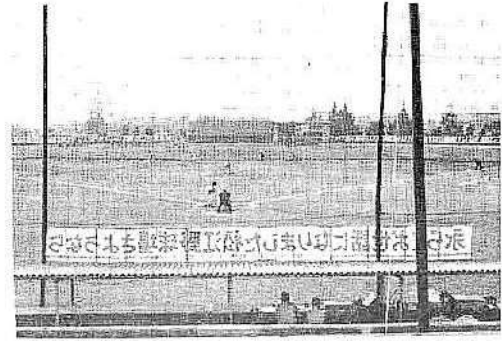


自転車競技連盟役員選手入場行進

- 宍道湖一周 8名
- 7・14 県自転車道路競走(県ロード)国体予選 4名
- 8・25 中国ロードレース 出雲市一大田市 4名出場
- 11・3 枕木山ヒルムクラム 8名
- 12・15 ロード(松江、米子)クラブ合同練習(米子市～倉吉市) 8名

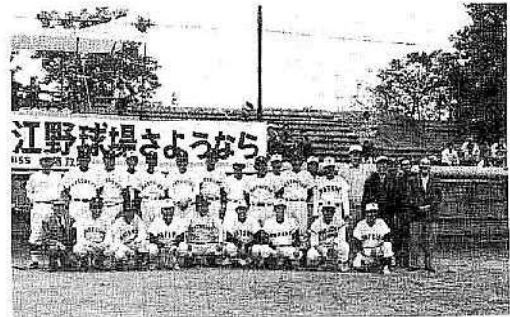
松江市野球連盟 (会長 福島益太郎)

- 4・6～7 球場
① 中国五県軟式野球 } 松江予選大会
" 準硬式野球 }
常陸宮賜杯準硬式野球 } 6チーム
- 4・20～21 球場
① 常陸宮賜杯準硬式島根県大会 7チーム
- 5・25～26 球場
① 天皇賜杯軟式野球松江予選大会 5チーム
- 7・14～19 球場
① 高松宮賜杯軟式野球(1、2部) }
松江予選大会兼松江市職域対抗野球大会 } 27チーム
- 7・20～21 球場
① 国体軟式野球松江予選大会 5チーム
" 準硬式 " }
- 8・16～17 二中、北高、球場、母衣小
① 松江市民体育祭 (少年の部、学童の部)
野球大会



さよなら記念行事 球場風景

- 8・8～29 球場
① 中国五県軟式野球(1、2部)
松江予選大会兼松江市職域対抗野球大会 24チーム
- 10・29～11・3～4 球場
〔松江野球場お別れ記念行事〕
1. 市内中学校新人大会 (4チーム3試合)
2. 高校野球大会 (6チーム3試合)
3. A、B級東西対抗戦 (6チーム3試合)
4. 市会議員～体協OB戦



体協OBチーム

松江ローンテニスクラブ (会長 島田和明)

- 3・24 楽山コート ① 春季市民大会
松江市民一般(学生、生徒を含む) 22名
- 4・29 益田・ユニエースコート
益田クラブ・山パル庭球部交歓試合 30名
- 5・19、26 6・2 9・16 楽山コート
① テニス教室(春の部)
松江市民一般 49名
- 8・1 楽山コート ① 夏季市民大会
松江市民(学生、生徒を含む) 32名
- 8・3～4 島大コート ① 講習会
高校生及び松江クラブ会員 30名
- 9・22、23、29 10・13、20、27
楽山、島大コート
① テニス教室(秋の部)
松江市民一般 52名
- 3・30～31 楽山コート
② 講習会
一般、高校生 74名

昭和49年度松江体育協会収支予算書

収入の部

費目	49年度予算額	48年度予算額	比較増△減	説明
1. 繰越金	20,000円	20,529円	△ 529円	前年度繰越金 2万円
2. 補助金	3,000,000	2,700,000	300,000	市補助金 300万円
3. 会費	915,000	600,000	315,000	5千円×33団体= 165千円 特別会費 3千円×250名=75万円
4. 雑収入	1,000	1,000	-	預金利子その他1千円
5. 積立金		150,000	△ 150,000	50年記念事業費 15万円
合計	3,936,000	3,471,529	464,471	

支出の部

費目	49年度予算額	48年度予算額	比較増△減	説明
1. 加盟団体事業補助費	2,500,000円	2,100,000円	400,000円	加盟団体33部門事業補助費 250万円 (内訳千円単位) 145. 陸上・卓球 140. 水泳 130. サッカー 120. 剣道 105. バレー 100. 野球・相撲・スポ 少 95. バスケット・オリエンテーリング 90. 軟式庭球 85. 柔道・弓道・ヨット・サイクリング 70. ローテニス・ソフト・アーチェリー 65. スキー 60. 射撃 55. 中体連 50. 体操 45. 小体連 35. ハンドボール・職域・地域・教職員 30. バドミントン・ライフル 25. 山岳・自転車 60. 新種目(なぎなた・その他)
2. 強化費	300,000	300,000	-	合同トレーニング及特別種目強化費30万円
3. 育成費	345,000	300,000	45,000	加盟団体育成費 345千円 (特別会費1人当り 1,5千円×230人分)
4. 事務費	741,000	321,529	419,471	表彰費 215千円 人件費 160千円 会議費 80千円 印刷費 90千円 備品費 50千円 図書費 50千円 通信費 50千円 消耗品費 50千円 雑費 50千円 県体協加盟金 6千円
5. 子備費	50,000	-	50,000	
6. 創立50年記念事業費	-	450,000	△ 450,000	
合計	3,936,000	3,471,529	464,471	

昭和48年度松江体育協会収支決算書

収入の部

費目	予算額	決算額	比較増△減	説明
1. 繰越金	20,529円	20,529円	- 円	前年度繰越金 20,529円
2. 補助金	2,700,000	2,700,000	-	48年度市補助金 2,700千円
3. 会費	600,000	708,000	108,000	特別会員会費 3千円×236名分
4. 積立金	150,000	150,000	-	50年記念事業積立金 150千円
5. 雑収入	1,000	14,050	13,050	雑収入 14,050円
合計	3,471,529	3,592,579	121,050	

支 出 の 部

費 目	予 算 額	決 算 額	比較増△減	説 明
1. 加盟団体事業補助費	2,100,000円	2,100,000円	-円	加盟団体32部門事業補助費 2100千円
2. 創立50年記念事業費	450,000	545,852	95,852	協会創立50年記念事業費 545,852円
3. 強 化 費	300,000	275,800	△ 24,200	合同トレーニング及び特別種目強化費 275,800円
4. 育 成 費	300,000	310,500	10,500	加盟団体育成費 310,500円
5. 事 務 費	321,529	221,305	△ 100,224	会議費 56,190円 印刷費 66,050円 備品費 23,000円 図書費 7,710円 通信費 3,440円 消耗品費 30,225円 雑 費 28,690円 県体協加盟金 6,000円
会 計	3,471,529	3,453,457	△ 18,072	

49年度へ繰越 139,122円

加盟団体事業補助費 210万円の配分内訳次のとおり。(単位万円)

- 12 (3種目) 陸上・卓球・サッカー
- 11 (1種目) 水 泳
- 10 (2種目) バレー・剣道
- 9 (1種目) 野 球
- 8 (5種目) 相撲・スポーツ少年団・バスケット・オリエンテーリング・軟庭
- 7 (4種目) 柔道・弓道・ヨット・サイクリング
- 6 (4種目) ローテニス・ソフト・アーチェリー・スキー
- 5 (2種目) 射撃・中体連
- 4 (2種目) 体操・小体連
- 3 (4種目) ハンドボール・職場・地域体・教職員
- 4 (4種目) バドミントン・ライフル・山岳・自転車
- 4 (その他・新種目)

合計 210 (32種目と新種目育成)

昭和48・49年度松江体育協会役員 (任期2カ年)

(50年1月現在)

役 職 名	氏 名									
会 長	齋藤 強									
副 会 長	門脇憲次郎	曾田 堯	藤井 忠孝	松尾 謙	岡 磯吉	和田 正則				
顧 問	伊達慎一郎	石倉 俊寛	野々村 延	秋本 盛一	与倉 潔美	又賀 清一				
	大久保正厚	岡田 善富	西田正四郎	片山 義雄	古満友次郎	森本 正紀				
	吉岡 年春	渡部 熊夫	早田伊勢松	石飛 三郎	瀬尾 正三	佐野 広				
	高井義三郎	小玉 耕平								
参 与	小川 宏	森 秋重	吉岡 正吉	清川 侃	鏡築 孝男	柳原 弘義				
	早田伊勢松	鈴木 繁徳	原 立市	森江 文吉	玉木 常吉	渡部 熊夫				
	佐藤 俊男	福島益太郎	金山 千	浅野 俊雄	岩田 篤明	須田豊三郎				
	門脇憲次郎	柿田 芳夫	古川重三郎	門脇 秀雄	野津 吉男	園山 亀藏				
和 邦 市	佐野 宏	吉野 晴雄	安達 広悦							
理 事 長	柱 隆義									
常 務 理 事	◎和田忠義(財務) ◎梶谷 節夫(施設) ◎原 武久(総務) ○矢田登志豊(競技)									
	○織奥信男(国体) ◎森 秋重(国体) ◎中島 武夫(広報) ○吉野 晴雄(施設)									
	○高尾邦雄(財務) 吉岡 弘(無任所) ○小玉 耕平(総務) ○青戸 純夫(広報)									
	◎福田 弥彦(競技) ◎は委員長 ○は副委員長 ()内は専門委員会									

役職名	氏名
理事	熊野 文三(総) 柿田 芳夫(総) 須田 正大(総) 石原 幸雄(国) 宮本 和男(山) 天津八紘(国)
	熊谷 琢朗(国) 井戸内 正 須山 春雄(總) 青戸 常磐(国) 余村 信義(總) 三代 要(總)
	鞍口 昭二(總) 佐草 幹夫(總) 野津佳都美(總) 小川 幸光(總) 浦川 侃(總) 菊地 良兵(山)
	作野 茂(總) 寺本 尚一(總) 福島益太郎 橋本 泰三(總) 角田 誠(山) 山岡清男(国)
	吉岡 正吉 宅和 定雄(總) 金架 一郎(總) () 内は専門委員会
監事	吉野 安久 松尾 司
事務局長	吉岡 弘

種 目 別 役 員

部 名	部 長 (○)	委 員 名
陸上競技	○須山 春雄	谷口 安弘 熊谷 琢朗 足立 淑世 千原 正男 松本 正
	伊藤 操	清水 愆二 小西 益之 長野 征三 佐次 智程 荒木 英昭
	新宮 忠次	塩川屋三郎 山根紀三男 山岡 清男 福田 正義 平垣 貞徳
	内藤 喜一	金山 晃 大塚 昭治 吉野 安久
卓球	○加藤 喜也 岸 明弘 坂田 年 玉木 敏夫 三島 堅 藤原 武治	
	山本 勝三 竹田 克己 久保川 喬之 小村 進	
バレー	○諏訪部 芳美 福井 勝美 金崎 利治	
サッカー	○勝部 嘉己 久保田 稔 長岡 誠 松浦 嘉昭 六道 泰玄	
剣道	○松本 清 浦川 侃 村上 茂 岡田 安夫 入沢 和一 田中 信義	
	種村 敏雄 川津 啓義	
水泳	○梶谷 節夫 小村 健 佐藤 幸一 野島 格己 規冢 文雄 古浦 勝己	
	門脇 節郎	
柔道	○高尾 邦雄 田中 義祐 長谷川 正雄 門脇 寧雄 多々納 崇	
軟式庭球	○小川 幸光 中島 武茂 森 二郎 朝元 知治 多久和智康 細木 博	
	吉村 三郎 福岡 功 鐘築 薫 石橋 康男	
相撲	○木村 勇 野津佳都美 武藤 貞二 藤原 正 田村 一朗 古藤 正三	
	高木 守正 佐藤 正 石橋 武雄 小山 栄一	
スキー	○佐草 幹夫 石川 博 領家 康明 小川 浩平 荒木 英昭 池田 雄晃	
	日野 和雄 矢野 秀治 渡部 紀美 仲田 義夫	
ローンテニス	○天津八紘 松浦敬三 寺本洋一 赤木誠 木村照二 山根健 岡山一美 高松一博	
ヨット	○幸野 孝治 菊池 良兵 渡部 次洋 長見 克二 勝部 八郎 山本 英二	
	内田 正夫 森山 利通 原田 紀子 永瀬 泰子	
アーチェリー	○永岡 章典 松田 健嗣 後藤 毅 熊野 節雄 青木 順子 伯川 八月生	
	黒崎 誠 長崎 誠	
自転車競技	○須田 正夫 岸本 武男 原 芳崇 野津 米蔵 伊藤 薫 来海 昭夫	
	菊谷 栄吉 引野 茂 大久保春弥	
サイクリング	○須田 正夫 伊藤 薫 西山 慶一 岸本 武男 菊谷 栄吉 来海 昭夫	
	長谷川伊平 大久保春弥 足立 一郎 大谷 恭一	
山岳	○小川 浩平 村田 行彦 仲田 義夫 本田 坦 岡本 文雄 三好 寅稔	
野球	○宅和 定雄 松尾 司 尾原 薫 広江 朝夫 吉儀 重久 木村 国哉	
	安藤 仁二 陰山 幸悦 岸 正紀 近藤 春美	
弓道	○和久利 勇 松田 俊雄 石倉 茂徳 田中 勇 作野 茂	
射撃	○安達 正幸 和田 総一 岩瀬 敏 岩佐 光義 大塚 博康 岡本 稔	
	裏辻 恭一 池上 成則	
ソフトボール	○矢野 時夫 作野 茂 今林 治 長島 徳夫 高階 等 細田 朝通	
	灘波 林造 西代 一利 今林 昭美	
体操	○柳原 弘義 松本 敏雄 渡辺 悦男 園山 哲也 岡坂 晴朗 原 洋二	
	妹尾あさ子 橋本 泰三 門脇 英雄 狩野 治子 本田 稔紀恵	

部 名	部 長 (○) 委 員 名									
バスケット	○伊藤 律夫 吉岡 正夫 勝部 佑二	山崎 恒雄 小西 和夫	岩崎 英人 鞍口 昭二	石原 辰三 石倉 達夫	高木 俊行 目次 健司	田中 瑞夫 尾立 安弘				
中学校体育部	○早田伊勢松 山崎 岩男 小谷 俊	岩崎 英人 田中 義祐	須山 春雄 林 楓志	谷口 安弘 山根 秀夫	石原 辰三 石原 正巳	野津 雅雄 野上 好弘				
小学校体育部	○山岡 清男 高木 俊行 久保田 聡 門脇 節郎 大坂 晋武									
教職員体育連盟	○									
スポーツ少年団	○浦川 侃 堀江 邦男	久保田 宏 三上 好美	入沢 和一 安部 清	高橋 幸男	深田 武士	高階 寿				
ライフル	○岩田 年允 渡部 博昭 松林 利光 岩山 勲 井原 福雄									
オリエンテーリング	○余村 信義 新宮 忠次 大飼 義秀 黒崎 行雄 桜内 保幹 土井 幹夫									
バドミントン	○大北 哲也 森山民之助 高麗 久義 松尾 益吉 小林 茂 星野 忠男									
なぎなた										
銃 剣 道										
ボクシング										

昭和49年度松江体育協会特別会員

(49・12・25現在)

取り扱い団体	口 数	特 別 会 員 氏 名
市 議 会 議 員	32	加藤 暁 森 秋重 竹谷 六郎 松浦 巖 福島益太郎 船来 豊 蔭山 德行 野波 好吉 福島 芳夫 松浦 繁市 岸 広海 野津 嘉重 岩田 篤明 村松益次郎 梶谷 明 久保田延男 森江 文吉 佐川 喜慶 吉岡 正吉 小立 幸雄 須田豊三郎 門脇 喜義 安部 要 大木 喜義 井戸内 正 岩成 潔 福島 伝重 小山 永久 大野 繁子 与倉 正三 神門 吉晴 黒田成一郎
相 撲	10	門脇憲次郎 井戸内 正 月坂 義明 木村 勇 成相 重夫 平塚 繁義 若林 泰男 古藤 正三 小山 栄 金津 光宜
アーチェリー	7	小林 哲朗 (2口) 荒木文之助商店 松田電気店和洋弓用品部 松江商工会 議所 高瀬 政史 島根三菱電機商品販売部
射 撃	7	福田真理夫 小川 宏 井上 廣 巽辻 朝三 藤原 甫吉 小林 文雄 池上 成則
自転車競技	3	島根県自転車軽自動車商協同組合松江支部 (3口)
サイクリング	9	同上 (9口)
野 球	10	福島益太郎 (2口) 尾原 徳光 (2口) 和田 正則 (2口) 宅和 定雄 (2口) 吉満友次郎 (2口)
陸 上 競 技	25	秋本 盛 金山 千 与倉 潔美 船江友太郎 曾田 堯 和田 忠義 桂 隆義 井上 等 兼折 博 森広太郎 万波 雅義 佐藤 勝亮 長谷川 智 福田 正義 佐次 智程 平垣 貞徳 塩川屋三郎 松浦 善次 吉野 安久 吉岡 貞徳 本田 一忠 伊藤 操 荒木八洲雄 竹田 操夫 佐野 広
卓 球	15	鐘築 孝男 (3口) 星野 広 (2口) 門脇 等功 秋鹿 富男 マルキ 運動具店 奥 守夫 船来 豊 竹谷 六郎 野田理容院 松江地方野全 局卓球部 日の丸スポーツ レストラン松江
ス キ ー	7	渡部豊次郎 泉 彬 柿田 芳夫 野津 吉男 (2口) 平本 寛也 山本 謙
体 操	5	柳原 弘義 松本 敏雄 妹尾あき子 渡辺 悦男 橋本 泰三
サ ッ カ ー	13	細田 重雄 小川 宏 (2口) 渡加 忠美 周藤 正巳 松浦 巖 勝部 喜好 (2口) 恒松 研二 遠藤 貞雄 上田 節夫 森下 明 (2口)
剣 道	12	神竹 礼士 福田 明正 古瀬 乗 塩田 恭 大西 友次 岡村 稔 藤原 重雄 松本 清 青戸 常磐 種村 敏雄 田中 信義 山本 邦一
水 泳		長谷川 博 尾郷 悟郎 (2口) 長谷川潤 井上 富吉 妹尾 永司

取り扱い団体	口数	特 別 会 員 氏 名
水 泳	14	白石 寿臣 松村 栄三 (2口) 伊原 周造 (2口) 作野 宏 後藤 勇 秋本 俊輔
ラ イ フ ル	3	渡部 熊夫 岡崎 功 岩瀬 敏
ヨ ッ ト	9	浅野 俊雄 大谷正三郎 大野 俊夫 山本厚太郎 梅木 松子 坂本美津枝 菊地 径子 岡 許夫 小池 昇
軟 式 庭 球	9	鈴木 榮徳 森脇文一郎 矢戸 稔 小川 幸光 中島 武茂 朝元 知治 細木 博 福岡 功 森 二郎
ソフトボール	7	古満 啓三 岩橋 弘明 小川 健 仙田 一恭 宮脇 正夫 佐藤 充男 泉 完治
バ ス ケ ッ ト	10	目次 国雄 (2口) 松尾 繁雄 (2口) 白石 寿民 (2口) 今林 治 (2口) 小塚 郷美 (2口)
小 体 連	5	門脇 秀雄 内藤 昌 塩川屋三郎 三島 義正 鞆口 昭二
オリエンテーリング	10	玉木 常吉 (3口) 安島 滋 (3口) 高井 富 (2口)
中 体 連	6	佐伯 厚 出川 忠教 石原 辰三 加藤 潔 戸谷 彰秀 本田 幸忠
弓 道	9	原田 雅生 松田 俊雄 安達 広祝 高井義三郎 石倉 茂徳 熊野 文三 和久利 勇 米本 兆民 渡利 洋一
バ レ ー	11	小川 幸光 柿田 昇 角 吉郎 狩野 文男 遠藤 貞雄 松尾 巖 野々内健一 山下 裕匡 佐藤 俊男 吉野 晴雄 布野 博幹
柔 道	9	平塚 繁義 山口 栄一 小村 利行 安島 由雄 井戸内 孝 曾田 三郎 山下 義明 立脇 春雄 森広太三郎
ローンテニス	7	門脇 桂 吉岡 年春 島田 和明 岩橋 猛雄 中島 隆司 泉原 次之 天津 八雄
ハンドボール	4	角田 誠 福島 栄一 石倉 秀人 ()
山 岳	23	岡村 一郎 柿田 芳夫 杉 能
バドミントン	3	高麗 義久 太田 秀夫 栗田 秀雄
計	273	

賀 正 松 江 体 育 協 会

会 長 齋 藤 強 (市 役 所 (市長) 24-1111)
 副 会 長 門 脇 憲 次 郎 (同 (助役) 24-1111)
 同 岡 磯 吉 (市教育委員会(教育長)24-1111)
 同 曾 田 堯 (市 長 会 (事務局長) 21-4186)
 同 藤 井 忠 孝 (松 江 土 建 協 (社長) 21-3521)
 同 松 尾 巖 (生 馬 公 民 館 (館長) 36-8460)
 同 和 田 正 則 (市 教 委 体 育 課 (講師) 24-1111)
 理 事 長 桂 隆 義 (島 根 信 販 協 (常務) 21-2140)
 事 務 局 長 吉 岡 弘 (市 教 委 体 育 課 (課長) 24-1111)
 事 務 局 松江市末次町86 松江市教育委員会体育課内 24-1111 (332)
 24-7227 (321) (直通)